

5. 秋田県



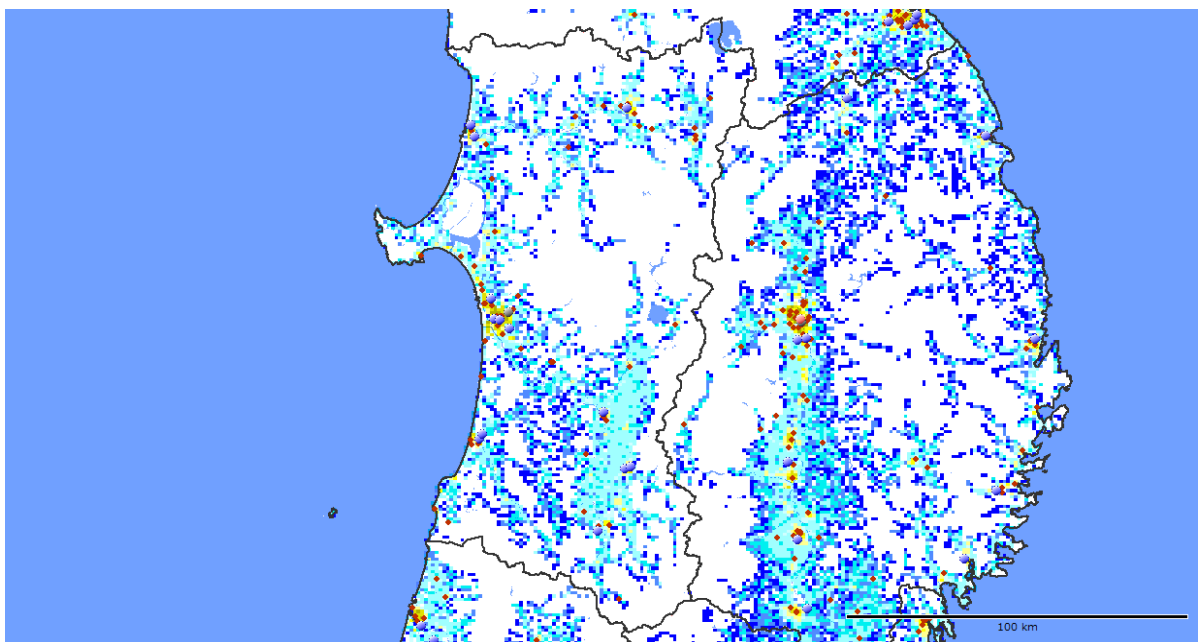
5. 秋田県（2016年版）

目次

秋田県	5 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	5 - 8
1. 大館・鹿角医療圏	5 - 26
2. 北秋田医療圏	5 - 31
3. 能代・山本医療圏	5 - 36
4. 秋田周辺医療圏	5 - 41
5. 由利本荘・にかほ医療圏	5 - 46
6. 大仙・仙北医療圏	5 - 51
7. 横手医療圏	5 - 56
8. 湯沢・雄勝医療圏	5 - 61

5. 秋田県

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（秋田県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 秋田県は、総人口約1023千人（2015年推計）、面積11614km²、人口密度は88人/km²である。

***人口の将来予測：** 秋田県の総人口は2025年に893千人へと減少し（2015年比-13%）、2040年に700千人へと減少する（2025年比-22%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の188千人が、2025年にかけて205千人へと増加し（2015年比+9%）、2040年には199千人へと減少する（2025年比-3%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 秋田県の一人当たり医療費（国保）は352千円（偏差値58）、介護給付費は301千円（偏差値63）であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 秋田県の一人当たり急性期医療密度指数²は1.39、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.88で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が48（病院医師数50、診療所医師数45）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は55とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は58で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は51で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 秋田県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、17925人（75歳以上1000人当たりの偏差値48）と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が12149床（偏差値54）、高齢者住宅等が5776床（偏差値44）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、17573人（75歳以上1000人当たりの偏差値65）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設60、特別養護老人ホーム51、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム41、軽費ホーム53、グループホーム53、サ高住47である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値36と少ない。介護職員（在宅）の合計は、2082人（75歳以上1000人当たりの偏差値45）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+1%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

秋田県の総人口は、2005年1145501人が、2015年に1023051人と11%減少し、2025年の人口が893224人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に2%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の減少が予測される。

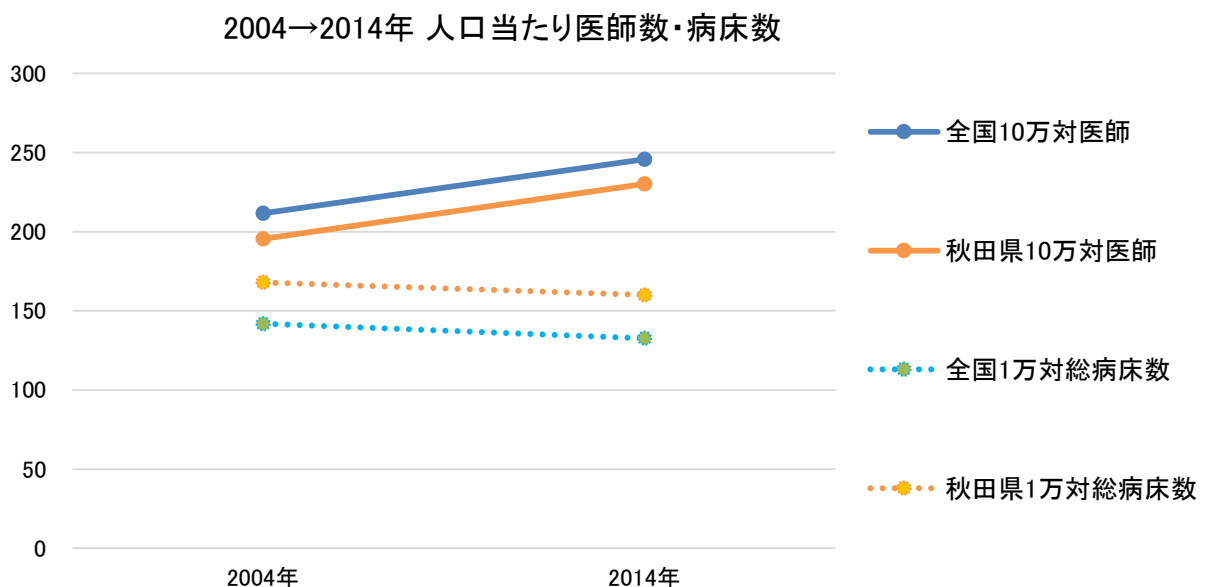
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が79(人口10万人当たり6.9病院(全国平均7.1)偏差値49)であったが、2014年に72(人口10万人当たり7病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で7病院が減少した。

2004年の診療所数が813(人口10万人当たり71診療所(全国平均76)偏差値48)であったが、2014年に822(人口10万人当たり80診療所(全国平均79)偏差値51)と、9診療所が増加した。

2004年の総病床数が19245床(人口1万人当たり168(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に16368床(人口1万人当たり160(全国平均133)偏差値55)と、2877床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

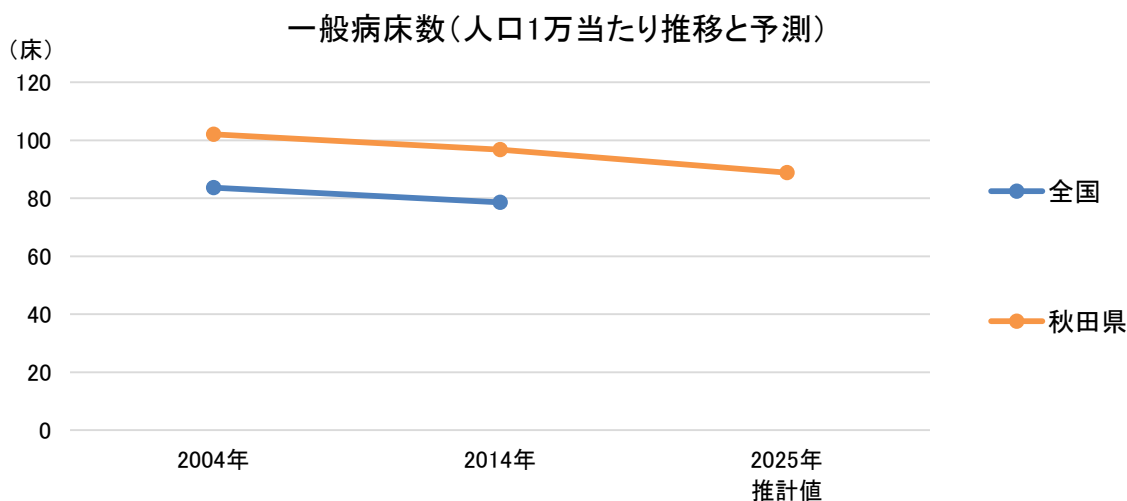
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が2239人(人口10万人当たり195人(全国平均212人)偏差値48)であったが、2014年に2355人(人口10万人当たり230人(全国平均246人)偏差値48)と、116人の増加、率にして5%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



5. 秋田県（2016年版）

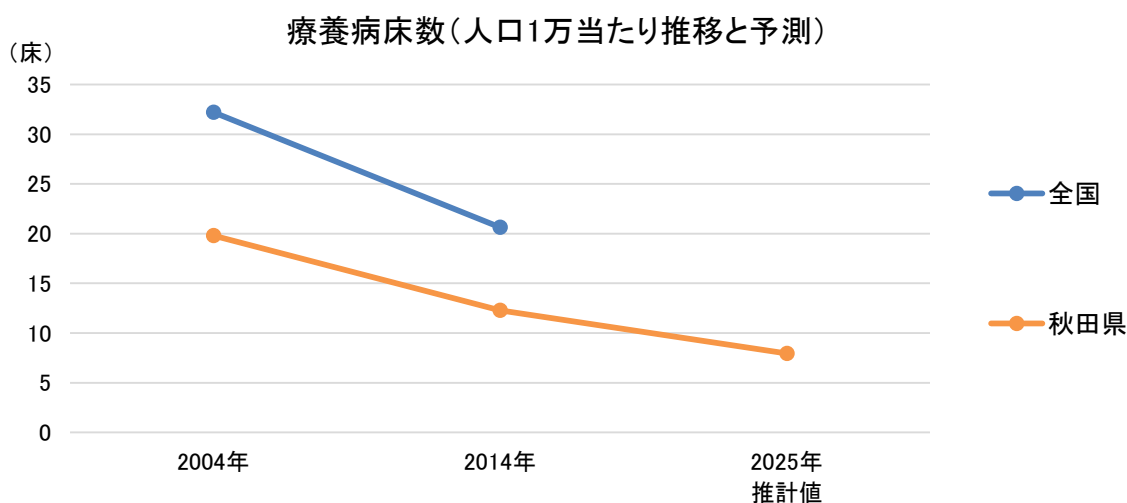
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が11690床(人口1万人当たり102(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に9904床(人口1万人当たり97(全国平均79)偏差値57)と、1786床の減少、率にして15%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7939床(2025年の推計人口1万人当たり89)になることが予想される。



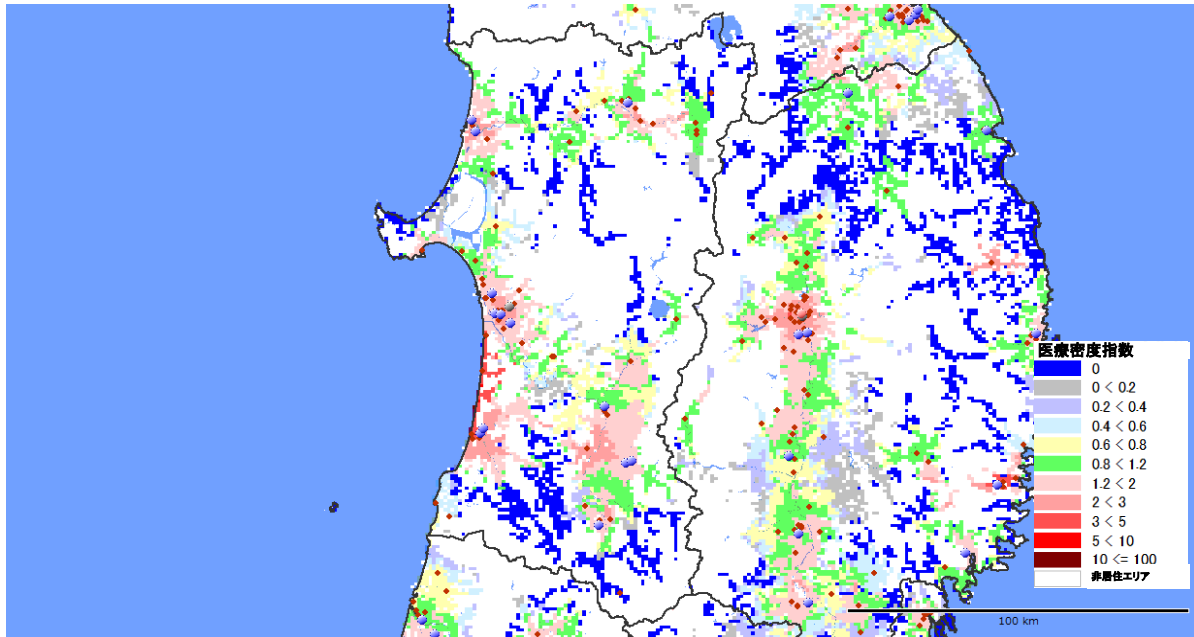
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2926床(75歳以上1000人当たり20(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に2310床(75歳以上1000人当たり12(全国平均21)偏差値43)と、616床の減少、率にして21%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1632床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

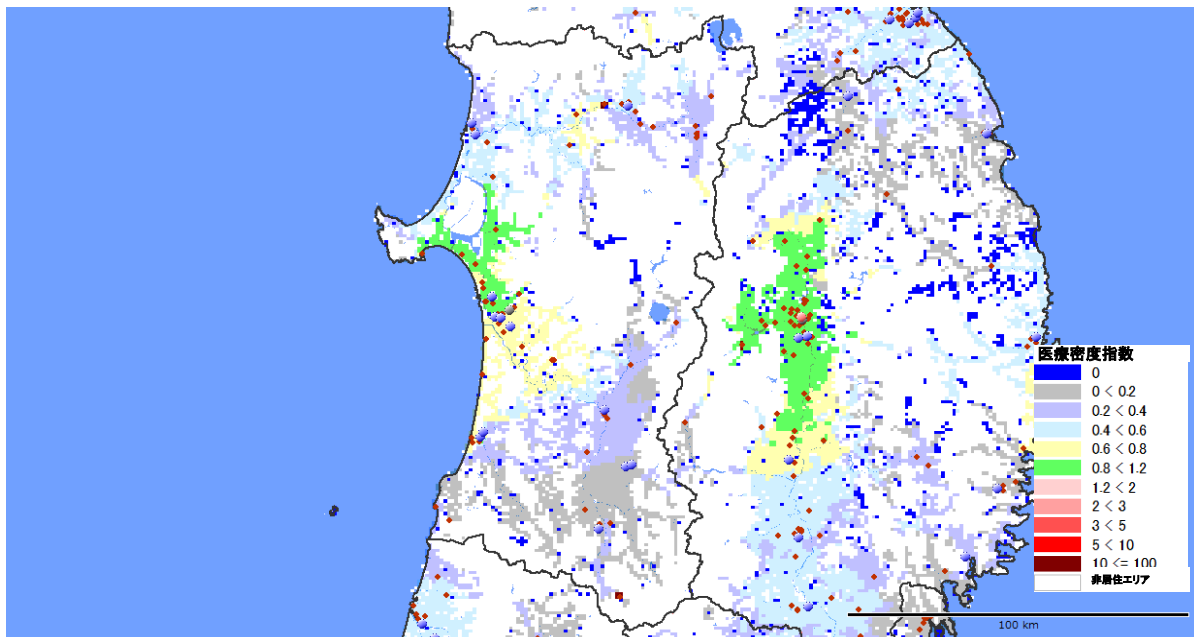


3. 医療密度⁵

図表5-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-2 慢性期医療密度指数マップ



5. 秋田県（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 5-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
秋田県	1,023	38位	11,614	6位	88.1		34%	893	700	188	205	199	-13%	-22%	9%	-3%
大館・鹿角	112	11%	1,823	16%	61.4	過疎地域型	36%	97	75	22	23	21	-13%	-23%	5%	-9%
北秋田	35	3%	1,409	12%	25.1	過疎地域型	41%	29	20	9	8	7	-17%	-31%	-11%	-13%
能代・山本	83	8%	1,191	10%	69.8	過疎地域型	38%	69	51	18	18	16	-17%	-26%	0%	-11%
秋田周辺	399	39%	1,694	15%	235.4	地方都市型	30%	359	291	62	76	79	-10%	-19%	23%	4%
由利本荘・にかほ	107	10%	1,450	12%	73.5	過疎地域型	33%	94	74	19	21	21	-12%	-21%	11%	0%
大仙・仙北	130	13%	2,129	18%	61.1	過疎地域型	36%	111	85	27	27	25	-15%	-23%	0%	-7%
横手	92	9%	693	6%	133.4	過疎地域型	35%	80	63	18	19	18	-13%	-21%	6%	-5%
湯沢・雄勝	65	6%	1,225	11%	52.7	過疎地域型	36%	54	40	13	13	13	-17%	-26%	0%	0%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 5-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
秋田県	1.39	0.88	-2.2%	1.0%
大館・鹿角	1.11	1.56	9.7%	19.3%
北秋田	0.70	0.69	3.2%	18.8%
能代・山本	1.44	1.29	8.5%	19.8%
秋田周辺	1.58	1.01	-19.9%	-24.1%
由利本荘・にかほ	1.85	0.29	-5.6%	-3.0%
大仙・仙北	1.13	0.53	12.7%	18.2%
横手	1.36	0.38	-27.7%	-23.9%
湯沢・雄勝	0.84	0.68	6.4%	7.3%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 5-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
秋田県	352	58	0.942	301	63
大館・鹿角	359	60	0.999	307	64
北秋田	365	61	0.976	326	69
能代・山本	366	62	1.032	314	66
秋田周辺	369	62	1.065	292	60
由利本荘・にかほ	364	61	1.046	302	63
大仙・仙北	315	49	0.938	315	67
横手	327	52	0.957	301	63
湯沢・雄勝	314	49	0.943	275	56
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 5-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
秋田県	72	0.8%	7.0	51	822	0.8%	80	51
大館・鹿角	10	14%	8.9	55	67	8%	60	40
北秋田	2	3%	5.7	47	33	4%	93	57
能代・山本	7	10%	8.4	54	73	9%	88	54
秋田周辺	28	39%	7.0	51	348	42%	87	54
由利本荘・にかほ	8	11%	7.5	52	81	10%	76	48
大仙・仙北	8	11%	6.1	49	98	12%	75	48
横手	4	6%	4.3	44	81	10%	88	54
湯沢・雄勝	5	7%	7.7	53	41	5%	63	42
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

5. 秋田県（2016年版）

資_図表 5-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数（再掲）				無床診療所数				有床診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,461		79	(19.5)	92,106		73	(19.0)	8,355		6.6	(6.6)
秋田県	822	0.8%	80	51	752	0.8%	74	50	70	0.8%	6.8	50
大館・鹿角	67	8%	60	40	62	8%	55	41	5	7%	4.5	47
北秋田	33	4%	93	57	31	4%	88	58	2	3%	5.7	49
能代・山本	73	9%	88	54	62	8%	75	51	11	16%	13.2	60
秋田周辺	348	42%	87	54	327	43%	82	55	21	30%	5.3	48
由利本荘・にかほ	81	10%	76	48	71	9%	67	47	10	14%	9.4	54
大仙・仙北	98	12%	75	48	88	12%	68	47	10	14%	7.7	52
横手	81	10%	88	54	76	10%	82	55	5	7%	5.4	48
湯沢・雄勝	41	5%	63	42	35	5%	54	40	6	9%	9.3	54
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 5-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数				診療所病床数				病院+診療所病床数			
	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,568,261		1,238	(503)	112,364		89	(106)	1,680,625		1,327	(565)
秋田県	15,437	1.0%	1,509	55	931	0.8%	91	50	16,368	1.0%	1,600	55
大館・鹿角	1,815	12%	1,621	58	58	6%	52	47	1,873	11%	1,673	56
北秋田	464	3%	1,312	51	23	2%	65	48	487	3%	1,377	51
能代・山本	1,380	9%	1,660	58	177	19%	213	62	1,557	10%	1,873	60
秋田周辺	6,240	40%	1,565	56	299	32%	75	49	6,539	40%	1,640	56
由利本荘・にかほ	1,875	12%	1,759	60	137	15%	129	54	2,012	12%	1,888	60
大仙・仙北	1,503	10%	1,155	48	108	12%	83	49	1,611	10%	1,238	48
横手	1,327	9%	1,435	54	47	5%	51	46	1,374	8%	1,486	53
湯沢・雄勝	833	5%	1,290	51	82	9%	127	54	915	6%	1,417	52
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 5-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
秋田県	9,054	1.0%	885	58	2,229	0.7%	218	48	4,080	1.2%	399	56
大館・鹿角	967	11%	864	57	511	23%	456	59	327	8%	292	51
北秋田	224	2%	633	47	48	2%	136	44	184	5%	520	62
能代・山本	785	9%	944	60	321	14%	386	56	270	7%	325	53
秋田周辺	3,454	38%	866	57	892	40%	224	48	1,870	46%	469	59
由利本荘・にかほ	1,413	16%	1,326	77	50	2%	47	40	402	10%	377	55
大仙・仙北	801	9%	615	46	203	9%	156	45	495	12%	380	55
横手	905	10%	979	62	50	2%	54	40	362	9%	391	56
湯沢・雄勝	505	6%	782	53	154	7%	238	49	170	4%	263	50
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 5-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
秋田県	426	0.6%	42	47	756	2.1%	74	58
大館・鹿角	91	21%	81	55	114	15%	102	64
北秋田	0	0%	0	38	0	0%	0	43
能代・山本	38	9%	46	48	49	6%	59	55
秋田周辺	193	45%	48	48	128	17%	32	50
由利本荘・にかほ	0	0%	0	38	99	13%	93	62
大仙・仙北	50	12%	38	46	132	17%	101	64
横手	0	0%	0	38	170	22%	184	81
湯沢・雄勝	54	13%	84	56	64	8%	99	64
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

5. 秋田県（2016年版）

資_図表 5-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
秋田県	8,250	7,293	244	6,799	1,612	1,738	81.9%	62	12.3%	51
大館・鹿角	1,059	949	42	592	20	305	97.9%	69	12.1%	51
北秋田	320	224	48	144	0	0	100.0%	70	100.0%	89
能代・山本	640	576	0	695	165	320	77.7%	61	0.0%	46
秋田周辺	2,582	2,462	0	3,561	895	892	73.3%	59	0.0%	46
由利本荘・にかほ	966	946	0	909	457	50	67.4%	56	0.0%	46
大仙・仙北	1,170	741	50	333	60	153	92.5%	67	24.6%	57
横手	965	905	50	362	0	0	100.0%	70	100.0%	89
湯沢・雄勝	548	490	54	203	15	18	97.0%	68	75.0%	79
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウエルネスが集計(一部、ウエルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 5-10 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
秋田県	23,256	0.8%	2,273	50	7,020	0.7%	686	46
大館・鹿角	2,028	9%	1,811	46	612	9%	547	41
北秋田	516	2%	1,459	43	24	0%	68	24
能代・山本	2,076	9%	2,497	53	504	7%	606	43
秋田周辺	10,932	47%	2,741	55	2,940	42%	737	48
由利本荘・にかほ	1,932	8%	1,813	46	804	11%	754	48
大仙・仙北	2,112	9%	1,623	44	660	9%	507	39
横手	2,532	11%	2,738	55	1,128	16%	1,220	64
湯沢・雄勝	1,128	5%	1,747	45	348	5%	539	41
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 5-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
秋田県	2,570	0.8%	251	48	1,696	0.8%	166	50	875	0.7%	85	45
大館・鹿角	198	8%	177	40	133	8%	118	43	65	7%	58	36
北秋田	48	2%	137	36	21	1%	61	34	27	3%	76	42
能代・山本	178	7%	214	44	99	6%	118	43	79	9%	95	48
秋田周辺	1,339	52%	336	57	946	56%	237	61	393	45%	99	49
由利本荘・にかほ	237	9%	223	45	155	9%	145	47	82	9%	77	42
大仙・仙北	237	9%	182	41	130	8%	100	40	107	12%	82	44
横手	239	9%	258	49	153	9%	165	50	86	10%	93	47
湯沢・雄勝	94	4%	145	37	60	4%	93	39	34	4%	52	34
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 5-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
秋田県	95	0.6%	9.3	45	99	0.8%	9.7	50	90	0.9%	8.8	51
大館・鹿角	5	5%	4.5	38	6	6%	5.4	40	6	7%	5.4	42
北秋田	0	0%	0	32	2	2%	5.7	41	1	1%	2.8	36
能代・山本	2	2%	2.4	35	5	5%	6.0	42	7	8%	8.4	50
秋田周辺	59	62%	14.8	54	65	66%	16.3	64	50	56%	12.5	61
由利本荘・にかほ	12	13%	11.3	48	8	8%	7.5	45	11	12%	10.3	55
大仙・仙北	10	11%	7.7	43	5	5%	3.8	37	7	8%	5.4	43
横手	5	5%	5.4	40	6	6%	6.5	43	6	7%	6.5	45
湯沢・雄勝	2	2%	3.1	36	2	2%	3.1	35	2	2%	3.1	37
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

5. 秋田県 (2016年版)

資_図表 5-13 専門医数 (皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科)

二次医療圏	皮膚科				眼科				耳鼻咽喉科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
秋田県	36	0.7%	3.5	47	66	0.7%	6.5	47	51	0.7%	5.0	47
大館・鹿角	1	3%	0.9	35	5	8%	4.5	41	6	12%	5.4	48
北秋田	0	0%	0	30	1	2%	2.8	36	2	4%	5.7	49
能代・山本	1	3%	1.2	36	3	5%	3.6	38	4	8%	4.8	46
秋田周辺	27	75%	6.8	62	41	62%	10.3	59	24	47%	6.0	50
由利本荘・にかほ	3	8%	2.8	44	2	3%	1.9	33	3	6%	2.8	38
大仙・仙北	2	6%	1.5	38	5	8%	3.8	39	5	10%	3.8	42
横手	2	6%	2.2	41	7	11%	7.6	50	6	12%	6.5	52
湯沢・雄勝	0	0%	0	30	2	3%	3.1	37	1	2%	1.5	33
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 5-14 専門医数 (精神科、外科、整形外科)

二次医療圏	精神科				外科				整形外科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
秋田県	77	0.9%	7.5	53	159	0.8%	15.5	49	119	0.8%	11.6	49
大館・鹿角	2	3%	1.8	37	8	5%	7.1	37	12	10%	10.7	47
北秋田	0	0%	0	31	5	3%	14.1	47	3	3%	8.5	42
能代・山本	12	16%	14.4	72	13	8%	15.6	49	11	9%	13.2	52
秋田周辺	46	60%	11.5	64	85	53%	21.3	57	57	48%	14.3	55
由利本荘・にかほ	1	1%	0.9	34	16	10%	15.0	48	12	10%	11.3	48
大仙・仙北	11	14%	8.5	55	7	4%	5.4	35	7	6%	5.4	35
横手	5	6%	5.4	47	18	11%	19.5	55	10	8%	10.8	47
湯沢・雄勝	0	0%	0	31	7	4%	10.8	43	7	6%	10.8	47
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 5-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
秋田県	57	1.0%	5.6	55	63	1.0%	6.2	55	25	0.5%	2.4	44
大館・鹿角	2	4%	1.8	37	8	13%	7.1	59	0	0%	0	36
北秋田	1	2%	2.8	42	0	0%	0	29	0	0%	0	36
能代・山本	6	11%	7.2	63	2	3%	2.4	39	2	8%	2.4	44
秋田周辺	31	54%	7.8	66	36	57%	9.0	67	17	68%	4.3	50
由利本荘・にかほ	4	7%	3.8	46	5	8%	4.7	49	3	12%	2.8	45
大仙・仙北	5	9%	3.8	47	6	10%	4.6	48	1	4%	0.8	39
横手	6	11%	6.5	60	4	6%	4.3	47	2	8%	2.2	43
湯沢・雄勝	2	4%	3.1	43	2	3%	3.1	42	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 5-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
秋田県	33	0.5%	3.2	44	14	0.9%	1.4	52	11	0.3%	1.1	41
大館・鹿角	1	3%	0.9	36	0	0%	0	37	3	27%	2.7	50
北秋田	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
能代・山本	1	3%	1.2	37	1	7%	1.2	50	0	0%	0	35
秋田周辺	24	73%	6.0	53	7	50%	1.8	56	7	64%	1.8	45
由利本荘・にかほ	3	9%	2.8	42	2	14%	1.9	57	0	0%	0	35
大仙・仙北	0	0%	0	33	0	0%	0	37	0	0%	0	35
横手	2	6%	2.2	40	3	21%	3.2	72	0	0%	0	35
湯沢・雄勝	2	6%	3.1	43	1	7%	1.5	54	1	9%	1.5	44
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

5. 秋田県（2016年版）

資_図表 5-17 専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
秋田県	9	0.5%	0.9	44	14	0.6%	1.4	46
大館・鹿角	1	11%	0.9	44	1	7%	0.9	43
北秋田	0	0%	0	37	0	0%	0	36
能代・山本	0	0%	0	37	0	0%	0	36
秋田周辺	6	67%	1.5	49	8	57%	2.0	51
由利本荘・にかほ	0	0%	0	37	1	7%	0.9	43
大仙・仙北	1	11%	0.8	43	3	21%	2.3	53
横手	1	11%	1.1	46	1	7%	1.1	44
湯沢・雄勝	0	0%	0	37	0	0%	0	36
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 5-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
秋田県	10,332	0.9%	1,010	55	8,589	1.0%	839	55	1,744	0.9%	170	52
大館・鹿角	1,074	10%	959	53	929	11%	830	55	144	8%	129	46
北秋田	222	2%	627	42	159	2%	450	39	63	4%	177	53
能代・山本	881	9%	1,060	57	680	8%	818	54	201	12%	242	62
秋田周辺	4,528	44%	1,135	59	3,743	44%	939	59	785	45%	197	56
由利本荘・にかほ	1,119	11%	1,049	56	1,016	12%	953	60	103	6%	97	42
大仙・仙北	1,090	11%	837	49	886	10%	681	49	204	12%	157	50
横手	971	9%	1,050	56	829	10%	897	58	142	8%	154	50
湯沢・雄勝	448	4%	694	44	346	4%	536	43	102	6%	157	50
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 5-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
秋田県	756	0.6%	74	46	1,961	0.7%	192	46
大館・鹿角	93	12%	83	48	200	10%	179	45
北秋田	8	1%	23	36	47	2%	133	40
能代・山本	61	8%	73	46	142	7%	171	44
秋田周辺	352	47%	88	49	924	47%	232	50
由利本荘・にかほ	59	8%	55	42	188	10%	176	45
大仙・仙北	108	14%	83	48	211	11%	162	43
横手	49	6%	53	42	172	9%	186	46
湯沢・雄勝	27	4%	42	40	77	4%	119	39
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 5-20 在宅医療施設数 (在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション)

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
秋田県	76	0.5%	0.4	39	8	0.7%	0.0	46	63	0.7%	0.3	36
大館・鹿角	5	7%	0.2	35	1	13%	0.0	46	7	11%	0.3	35
北秋田	1	1%	0.1	33	0	0%	0	39	4	6%	0.5	44
能代・山本	7	9%	0.4	39	0	0%	0	39	4	6%	0.2	31
秋田周辺	41	54%	0.7	45	6	75%	0.1	55	26	41%	0.4	41
由利本荘・にかほ	4	5%	0.2	35	0	0%	0	39	6	10%	0.3	35
大仙・仙北	7	9%	0.3	36	0	0%	0	39	8	13%	0.3	35
横手	10	13%	0.5	42	1	13%	0.1	48	5	8%	0.3	33
湯沢・雄勝	1	1%	0.1	32	0	0%	0	39	3	5%	0.2	30
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

5. 秋田県 (2016年版)

資_図表 5-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
秋田県	17,925	1.1%	95	48	12,149	1.2%	65	54	5,776	0.9%	31	44
大館・鹿角	2,373	13%	106	54	1,710	14%	76	63	663	11%	30	43
北秋田	699	4%	82	40	583	5%	69	57	116	2%	14	33
能代・山本	1,859	10%	106	54	1,081	9%	61	51	778	13%	44	53
秋田周辺	6,074	34%	99	50	3,916	32%	64	53	2,158	37%	35	47
由利本荘・にかほ	1,678	9%	87	42	1,413	12%	73	60	265	5%	14	33
大仙・仙北	2,664	15%	100	50	1,687	14%	63	53	977	17%	37	48
横手	1,372	8%	75	35	833	7%	45	38	539	9%	29	43
湯沢・雄勝	1,206	7%	90	44	926	8%	69	57	280	5%	21	38
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 5-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
秋田県	5,193	1.4%	28	60	6,519	1.2%	35	51	437	0.6%	2.3	46
大館・鹿角	612	12%	27	59	800	12%	36	52	298	68%	13.3	72
北秋田	180	3%	21	49	403	6%	47	64	0	0%	0	40
能代・山本	375	7%	21	49	577	9%	33	49	129	30%	7.3	58
秋田周辺	2,008	39%	33	69	1,908	29%	31	47	0	0%	0	40
由利本荘・にかほ	500	10%	26	57	913	14%	47	63	0	0%	0	40
大仙・仙北	674	13%	25	56	1,013	16%	38	54	0	0%	0	40
横手	450	9%	24	54	383	6%	21	37	0	0%	0	40
湯沢・雄勝	394	8%	29	63	522	8%	39	55	10	2%	0.7	42
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 5-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
秋田県	843	0.4%	4.5	41	359	1.6%	1.9	53	2,488	1.3%	13.2	53
大館・鹿角	59	7%	2.6	39	114	32%	5.1	68	324	13%	14.4	55
北秋田	0	0%	0	37	0	0%	0	43	116	5%	13.6	54
能代・山本	57	7%	3.2	40	15	4%	0.9	47	458	18%	26.0	76
秋田周辺	444	53%	7.2	44	120	33%	1.9	53	549	22%	8.9	45
由利本荘・にかほ	0	0%	0	37	30	8%	1.5	51	180	7%	9.3	46
大仙・仙北	219	26%	8.2	45	30	8%	1.1	49	474	19%	17.8	61
横手	44	5%	2.4	39	50	14%	2.7	56	252	10%	13.7	54
湯沢・雄勝	20	2%	1.5	38	0	0%	0	43	135	5%	10.1	47
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 5-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(全施設)				サ高住(特定施設)				サ高住(非特定施設)			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)
秋田県	2,086	1.0%	11.1	47	525	4.0%	2.8	63	1,561	0.8%	8.3	44
大館・鹿角	166	8%	7.4	42	0	0%	0	45	166	11%	7.4	42
北秋田	0	0%	0	31	0	0%	0	45	0	0%	0	31
能代・山本	248	12%	14.1	52	30	6%	1.7	56	218	14%	12.4	50
秋田周辺	1,045	50%	16.9	56	369	70%	6.0	83	676	43%	11.0	48
由利本荘・にかほ	55	3%	2.8	35	0	0%	0	45	55	4%	2.8	35
大仙・仙北	254	12%	9.5	45	67	13%	2.5	61	187	12%	7.0	42
横手	193	9%	10.5	46	29	6%	1.6	55	164	11%	8.9	45
湯沢・雄勝	125	6%	9.3	45	30	6%	2.2	59	95	6%	7.1	42
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計				平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの			

5. 秋田県（2016年版）

資_図表 5-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
秋田県	1,504	0.9%	8.0	43	1,267	1.1%	6.7	48	238	0.6%	1.3	35
大館・鹿角	242	16%	10.8	54	219	17%	9.7	62	23	10%	1.0	32
北秋田	56	4%	6.6	37	40	3%	4.7	39	16	7%	1.9	42
能代・山本	135	9%	7.7	41	117	9%	6.6	47	19	8%	1.1	32
秋田周辺	504	33%	8.2	43	404	32%	6.5	47	100	42%	1.6	39
由利本荘・にかほ	142	9%	7.3	40	124	10%	6.4	46	18	8%	0.9	31
大仙・仙北	180	12%	6.8	37	154	12%	5.8	43	26	11%	1.0	31
横手	137	9%	7.4	40	112	9%	6.1	45	25	10%	1.3	36
湯沢・雄勝	109	7%	8.1	43	98	8%	7.3	51	11	4%	0.8	29
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 5-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 （介護施設 等）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 （在宅）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
秋田県	19,655	1.3%	104	62	17,573	1.4%	93	65	2,082	0.9%	11.1	45
大館・鹿角	2,250	11%	100	58	2,021	12%	90	62	229	11%	10.2	44
北秋田	781	4%	92	51	675	4%	79	52	106	5%	12.5	48
能代・山本	1,967	10%	112	68	1,752	10%	99	70	216	10%	12.3	48
秋田周辺	6,774	34%	110	66	5,945	34%	96	67	829	40%	13.4	50
由利本荘・にかほ	2,007	10%	104	61	1,855	11%	96	67	152	7%	7.9	40
大仙・仙北	2,791	14%	105	62	2,526	14%	95	66	265	13%	9.9	43
横手	1,892	10%	103	60	1,699	10%	92	64	193	9%	10.5	44
湯沢・雄勝	1,193	6%	89	49	1,101	6%	82	55	92	4%	6.9	38
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 5-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
秋田県	5,667	0.5%	30	39	1,876	0.5%	10	36	12,997	0.9%	69	43
大館・鹿角	202	4%	9	32	171	9%	8	34	1,599	12%	71	44
北秋田	63	1%	7	31	151	8%	18	43	623	5%	73	44
能代・山本	816	14%	46	44	143	8%	8	34	1,266	10%	72	44
秋田周辺	2,537	45%	41	42	868	46%	14	40	5,221	40%	85	48
由利本荘・にかほ	468	8%	24	37	156	8%	8	34	849	7%	44	35
大仙・仙北	658	12%	25	37	139	7%	5	31	1,750	13%	66	42
横手	660	12%	36	40	162	9%	9	35	1,103	8%	60	40
湯沢・雄勝	263	5%	20	35	86	5%	6	33	586	5%	44	35
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 5-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
秋田県		1,145,501	1,023,051	-11%	893,224	-22%	2%	-4%	-2%
大館・鹿角	過疎地域型	126,081	111,966	-11%	96,716	-23%	1%	-7%	-6%
北秋田	過疎地域型	43,156	35,362	-18%	28,555	-34%	-5%	-11%	-16%
能代・山本	過疎地域型	96,656	83,135	-14%	69,428	-28%	0%	-8%	-8%
秋田周辺	地方都市型	432,434	398,802	-8%	359,151	-17%	7%	2%	8%
由利本荘・にかほ	過疎地域型	118,527	106,587	-10%	93,758	-21%	1%	-3%	-2%
大仙・仙北	過疎地域型	148,258	130,142	-12%	111,415	-25%	-1%	-7%	-8%
横手	過疎地域型	103,652	92,477	-11%	80,422	-22%	-1%	-5%	-6%
湯沢・雄勝	過疎地域型	76,737	64,580	-16%	53,779	-30%	-6%	-9%	-14%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

5. 秋田県（2016年版）

資_図表 5-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
秋田県	79	6.9	49	72	7.0	51	-7	-9%	65
大館・鹿角	11	8.7	54	10	8.9	55	-1	-9%	9
北秋田	4	9.3	56	2	5.7	47	-2	-50%	0
能代・山本	8	8.3	53	7	8.4	54	-1	-13%	6
秋田周辺	30	6.9	50	28	7.0	51	-2	-7%	26
由利本荘・にかほ	9	7.6	51	8	7.5	52	-1	-11%	7
大仙・仙北	8	5.4	46	8	6.1	49	0	0%	8
横手	4	3.9	42	4	4.3	44	0	0%	4
湯沢・雄勝	5	6.5	48	5	7.7	53	0	0%	5
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 5-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
秋田県	813	71	48	822	80	51	9	1%	832
大館・鹿角	66	52	38	67	60	40	1	2%	68
北秋田	38	88	56	33	93	57	-5	-13%	28
能代・山本	81	84	54	73	88	54	-8	-10%	64
秋田周辺	326	75	50	348	87	54	22	7%	372
由利本荘・にかほ	77	65	45	81	76	48	4	5%	85
大仙・仙北	100	67	46	98	75	48	-2	-2%	96
横手	85	82	53	81	88	54	-4	-5%	77
湯沢・雄勝	40	52	38	41	63	42	1	3%	42
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 5-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
秋田県	2,239	195	48	2,355	230	48	116	5%	2,483
大館・鹿角	190	151	43	165	147	40	-25	-13%	138
北秋田	56	130	40	40	113	37	-16	-29%	22
能代・山本	151	156	43	150	180	43	-1	-1%	149
秋田周辺	1,180	273	57	1,310	328	58	130	11%	1,453
由利本荘・にかほ	203	171	45	204	191	44	1	0%	205
大仙・仙北	195	132	40	207	159	41	12	6%	220
横手	179	173	45	194	210	46	15	8%	211
湯沢・雄勝	85	111	38	85	132	38	0	0%	85
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 5-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
秋田県	19,245	168	55	16,368	160	55	-2,877	-15%	13,203
大館・鹿角	2,289	182	57	1,873	167	56	-416	-18%	1,415
北秋田	763	177	56	487	138	51	-276	-36%	183
能代・山本	1,980	205	61	1,557	187	60	-423	-21%	1,092
秋田周辺	7,232	167	55	6,539	164	56	-693	-10%	5,777
由利本荘・にかほ	2,241	189	58	2,012	189	60	-229	-10%	1,760
大仙・仙北	2,141	144	50	1,611	124	48	-530	-25%	1,028
横手	1,570	151	52	1,374	149	53	-196	-12%	1,158
湯沢・雄勝	1,029	134	49	915	142	52	-114	-11%	790
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

5. 秋田県 (2016年版)

資_図表 5-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
秋田県	11,690	102	57	9,904	97	57	-1,786	-15%	7,939	89
大館・鹿角	1,288	102	57	1,022	91	55	-266	-21%	729	75
北秋田	494	114	61	247	70	47	-247	-50%	-25	-9
能代・山本	1,231	127	65	926	111	62	-305	-25%	591	85
秋田周辺	4,125	95	54	3,753	94	56	-372	-9%	3,344	93
由利本荘・にかほ	1,521	128	66	1,550	145	75	29	2%	1,582	169
大仙・仙北	1,340	90	52	891	68	46	-449	-34%	397	36
横手	1,058	102	57	952	103	59	-106	-10%	835	104
湯沢・雄勝	633	82	50	563	87	53	-70	-11%	486	90
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 5-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
秋田県	2,926	20	43	2,310	12	43	-616	-21%	1,632	8
大館・鹿角	554	32	50	514	23	52	-40	-7%	470	20
北秋田	60	8	36	48	6	37	-12	-20%	35	4
能代・山本	405	29	48	357	20	50	-48	-12%	304	16
秋田周辺	1,169	26	46	892	14	45	-277	-24%	587	8
由利本荘・にかほ	224	14	40	50	3	34	-174	-78%	-141	-7
大仙・仙北	247	11	38	221	8	39	-26	-11%	192	7
横手	66	4	34	50	3	35	-16	-24%	32	2
湯沢・雄勝	201	17	41	178	13	44	-23	-11%	153	12
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

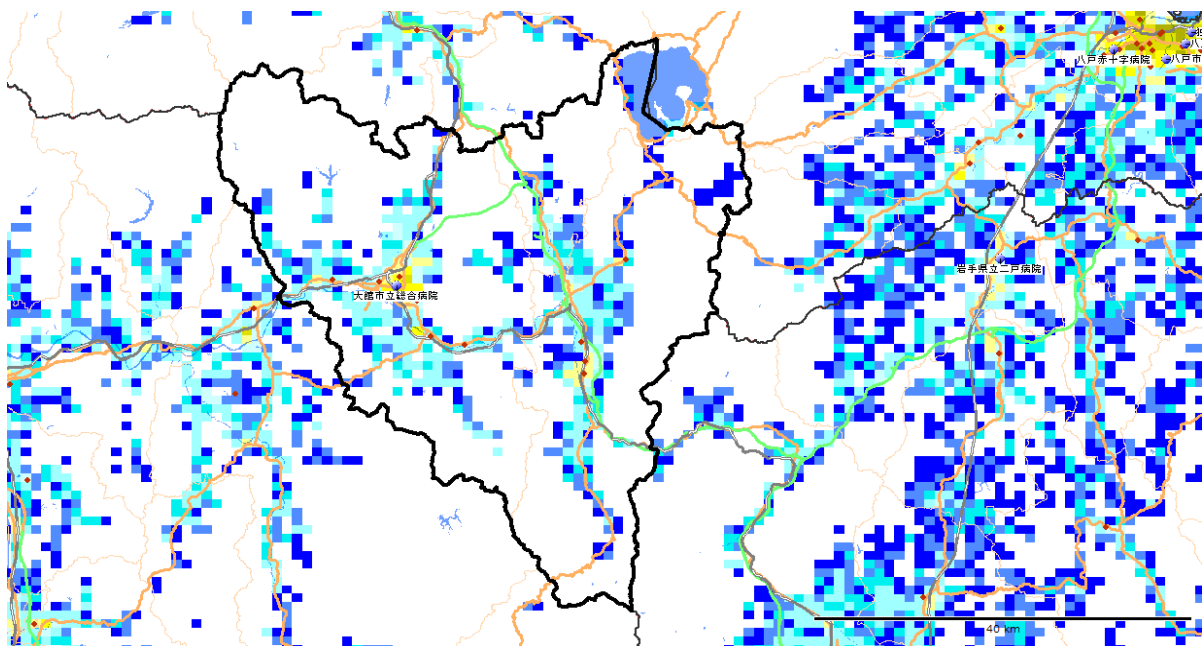
資_図表 5-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
秋田県	362	58	1.027	148	57	1.088	191	58	0.998
大館・鹿角	358	57	0.969	149	58	1.041	189	57	0.943
北秋田	356	57	0.934	144	56	0.977	191	58	0.925
能代・山本	370	60	1.016	149	58	1.053	197	62	1.002
秋田周辺	385	64	1.082	157	61	1.138	202	65	1.050
由利本荘・にかほ	371	60	1.038	160	62	1.153	188	57	0.976
大仙・仙北	326	50	0.942	123	49	0.920	180	52	0.966
横手	341	53	0.964	136	54	0.993	181	52	0.951
湯沢・雄勝	330	51	0.955	145	56	1.073	163	42	0.879
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

5-1. おおだて かづの 大館・鹿角医療圏

構成市区町村¹⁰ [大館市](#) [鹿角市](#) [小坂町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(大館・鹿角医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 大館・鹿角(大館市)は、総人口約112千人(2015年推計)、面積1823km²、人口密度は61人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 大館・鹿角の総人口は2025年に97千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に75千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて23千人へと増加し(2015年比+5%)、2040年には21千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 大館・鹿角の一人当たり医療費(国保)は359千円(偏差値60)、介護給付費は307千円(偏差値64)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 大館・鹿角の一人当たり急性期医療密度指数²は1.11、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.56で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が40(病院医師数43、診療所医師数36)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。大館・鹿角には、年間全身麻酔件数が500例以上の大館市立総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 大館・鹿角の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2373人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1710床(偏差値63)、高齢者住宅等が663床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2021人(75歳以上1000人当たりの偏差値62)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設59、特別養護老人ホーム52、介護療養型医療施設72、有料老人ホーム39、軽費ホーム68、グループホーム55、サ高住42である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、229人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

大館・鹿角医療圏の総人口は、2005年126081人が、2015年に111966人と11%減少し、2025年の人口が96716人と予測され、2005年→2025年の間に23%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

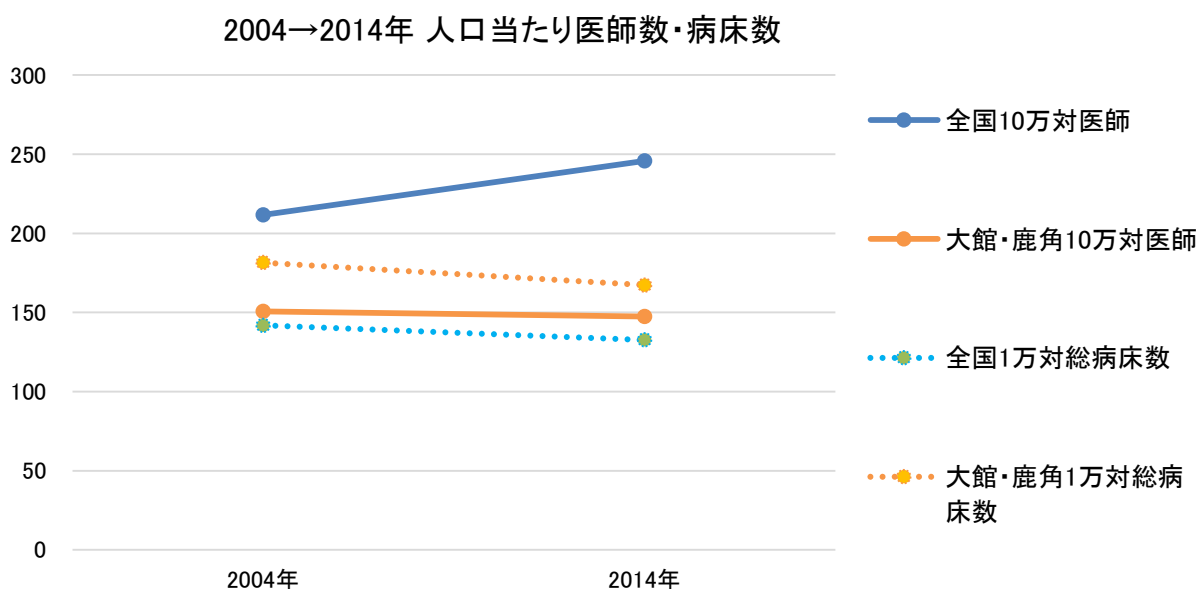
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が11(人口10万人当たり8.7病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に10(人口10万人当たり8.9病院(全国平均6.7)偏差値55)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が66(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に67(人口10万人当たり60診療所(全国平均79)偏差値40)と、1診療所が増加した。

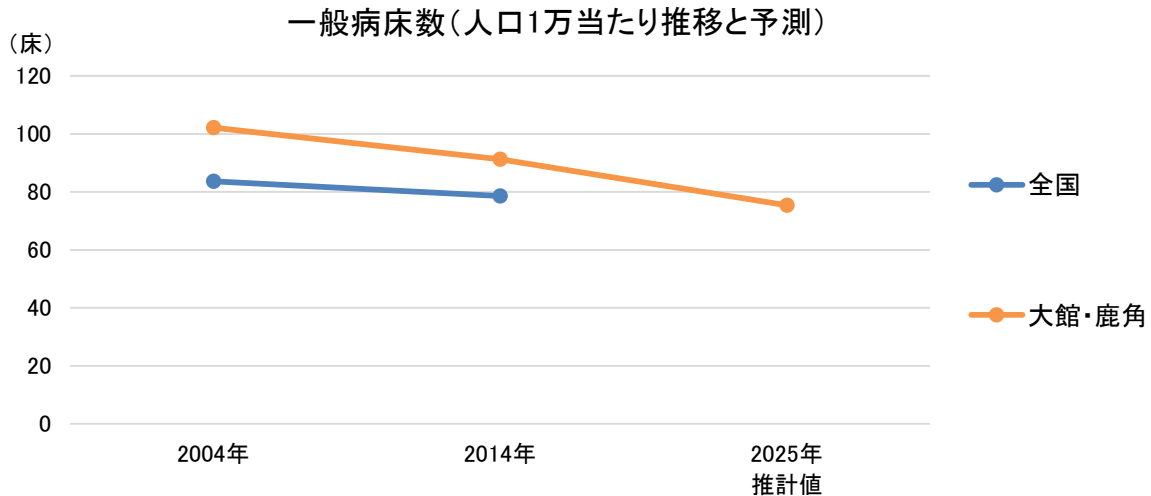
2004年の総病床数が2289床(人口1万人当たり182(全国平均142)偏差値57)であったが、2014年に1873床(人口1万人当たり167(全国平均133)偏差値56)と、416床の減少、率にして18%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が190人(人口10万人当たり151人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に165人(人口10万人当たり147人(全国平均246人)偏差値40)と、25人の減少、率にして13%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



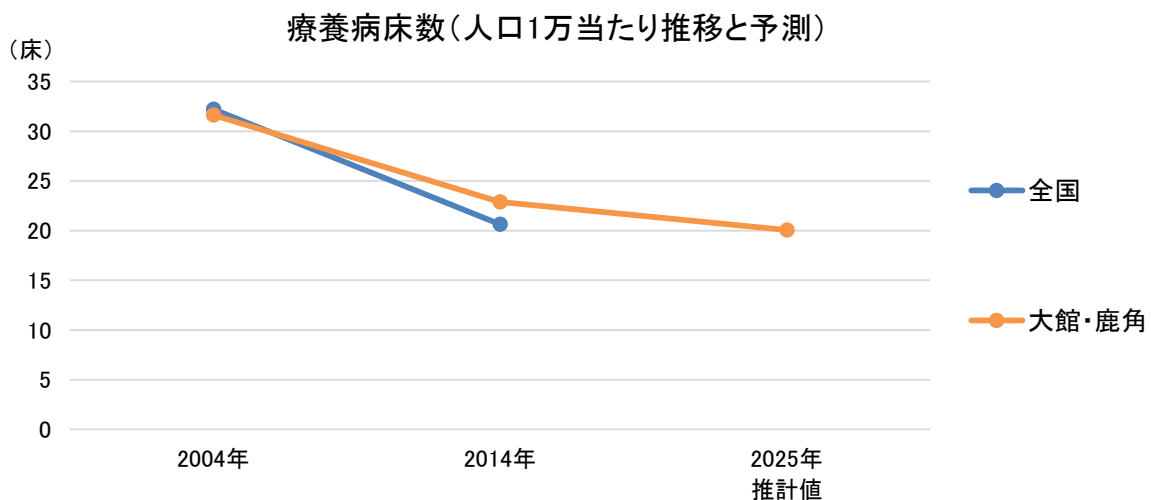
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1288床(人口1万人当たり102(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に1022床(人口1万人当たり91(全国平均79)偏差値55)と、266床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には729床(2025年の推計人口1万人当たり75)になることが予想される。



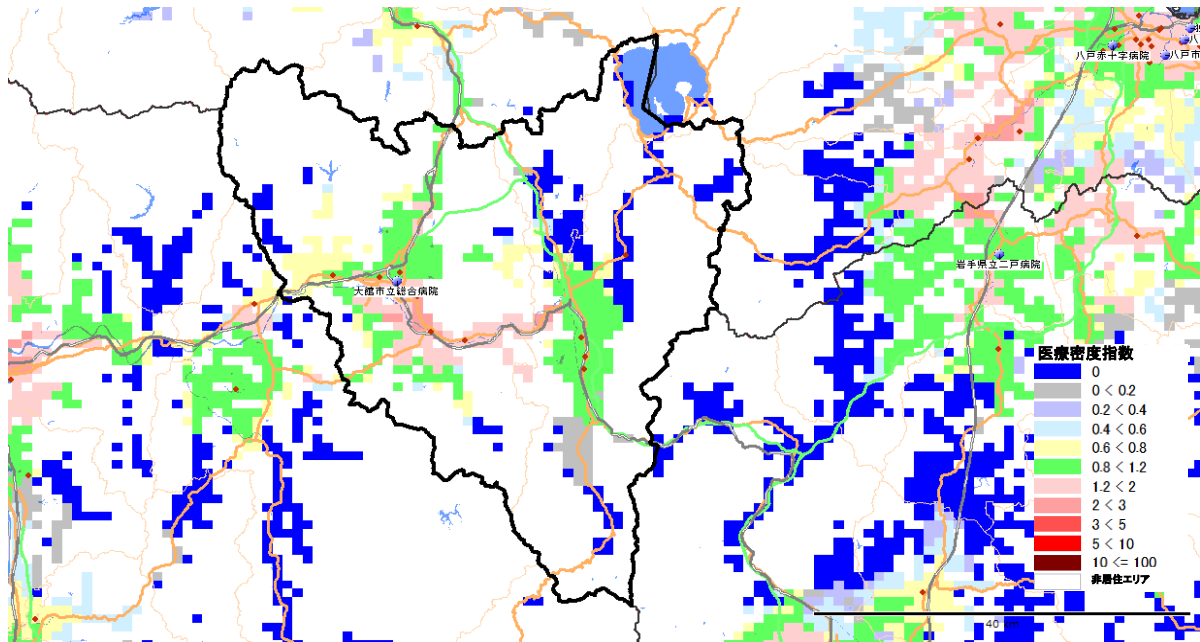
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が554床(75歳以上1000人当たり32(全国平均32)偏差値50)であったが、2014年に514床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、40床の減少、率にして7%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には470床(2025年の推計75歳以上1000人当たり20)になることが予想される。

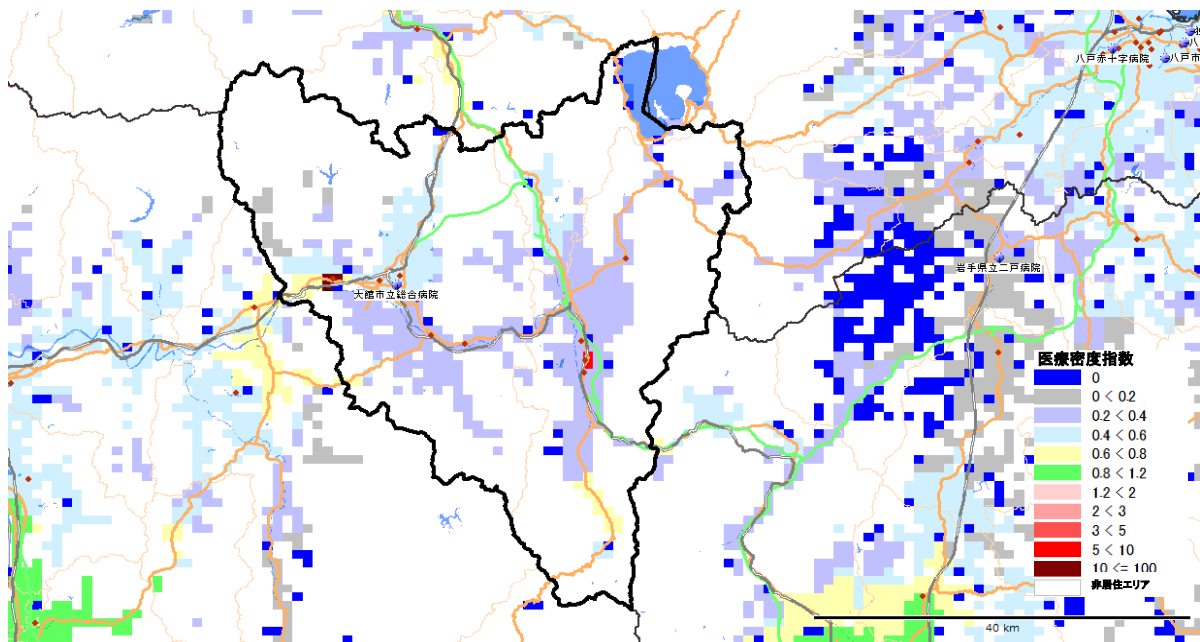


3. 医療密度⁵

図表5-1-1 急性期医療密度指数マップ



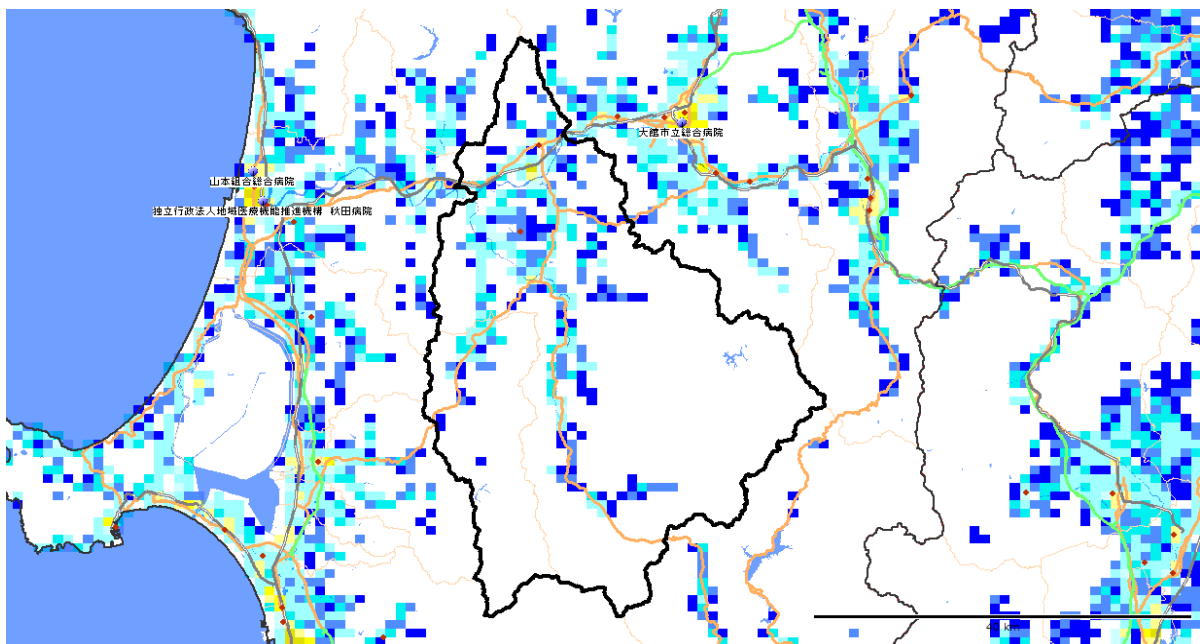
図表5-1-2 慢性期医療密度指数マップ



5-2. きたあきた 北秋田医療圏

構成市区町村¹⁰ [北秋田市](#) [上小阿仁村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（北秋田医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

*人口、面積など： 北秋田（北秋田市）は、総人口約35千人（2015年推計）、面積1409km²、人口密度は25人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北秋田の総人口は2025年に29千人へと減少し（2015年比-17%）、2040年に20千人へと減少する（2025年比-31%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の9千人が、2025年にかけて8千人へと減少し（2015年比-11%）、2040年には7千人へと減少する（2025年比-13%）ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北秋田の一人当たり医療費（国保）は365千円（偏差値61）、介護給付費は326千円（偏差値69）であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北秋田の一人当たり急性期医療密度指数²は0.7、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.69で、急性期の医療も慢性期の医療も少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が36（病院医師数34、診療所医師数42）と、総医師数、診療所医師数は少なく、病院医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。北秋田には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値36と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は62で精神病床数は多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は57で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北秋田の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、699人（75歳以上1000人当たりの偏差値40）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が583床（偏差値57）、高齢者住宅等が116床（偏差値33）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、675人（75歳以上1000人当たりの偏差値52）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム64、介護療養型医療施設なし（偏差値40）、有料老人ホームなし（偏差値37）、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム54、サ高住なし（偏差値31）である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値33と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員（在宅）の合計は、106人（75歳以上1000人当たりの偏差値48）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は+19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北秋田医療圏の総人口は、2005年43156人が、2015年に35362人と18%減少し、2025年の人口が28555人と予測され、2005年→2025年の間に34%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に5%減少し、2015年から2025年にかけて11%程度の減少が予測される。

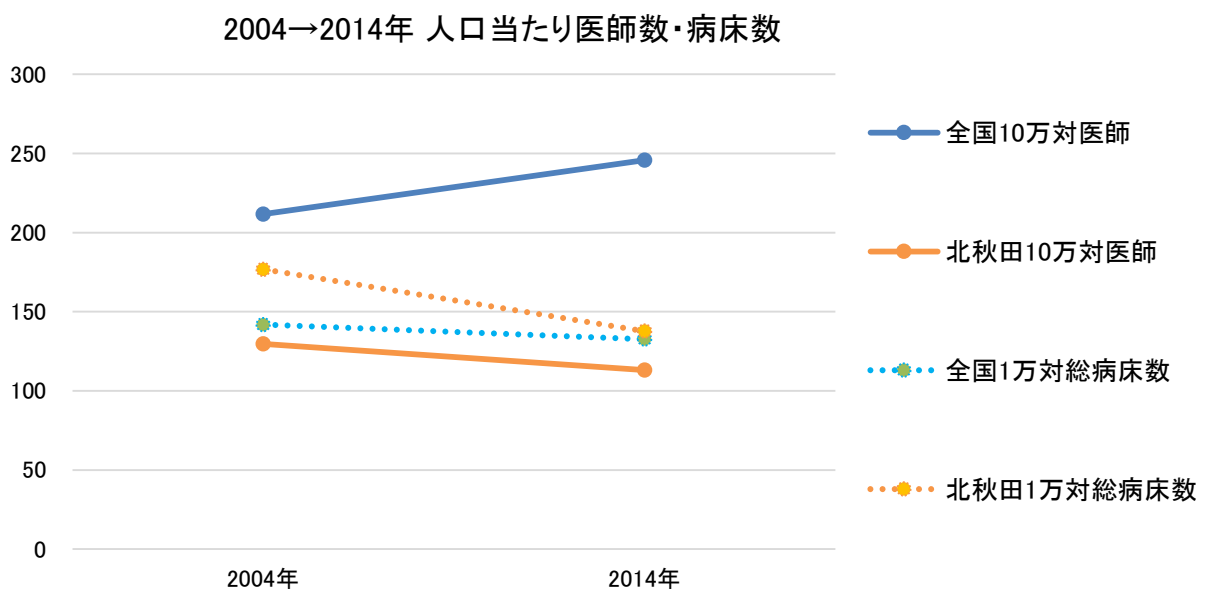
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が4(人口10万人当たり9.3病院(全国平均7.1)偏差値56)であったが、2014年に2(人口10万人当たり5.7病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が38(人口10万人当たり88診療所(全国平均76)偏差値56)であったが、2014年に33(人口10万人当たり93診療所(全国平均79)偏差値57)と、5診療所が減少した。

2004年の総病床数が763床(人口1万人当たり177(全国平均142)偏差値56)であったが、2014年に487床(人口1万人当たり138(全国平均133)偏差値51)と、276床の減少、率にして36%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

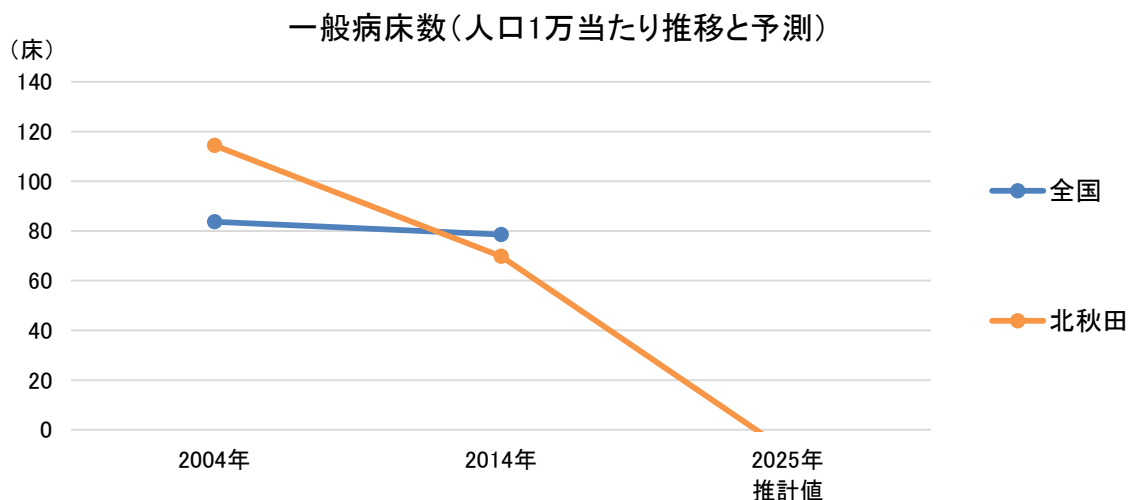
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が56人(人口10万人当たり130人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に40人(人口10万人当たり113人(全国平均246人)偏差値37)と、16人の減少、率にして29%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



5. 秋田県（2016年版）

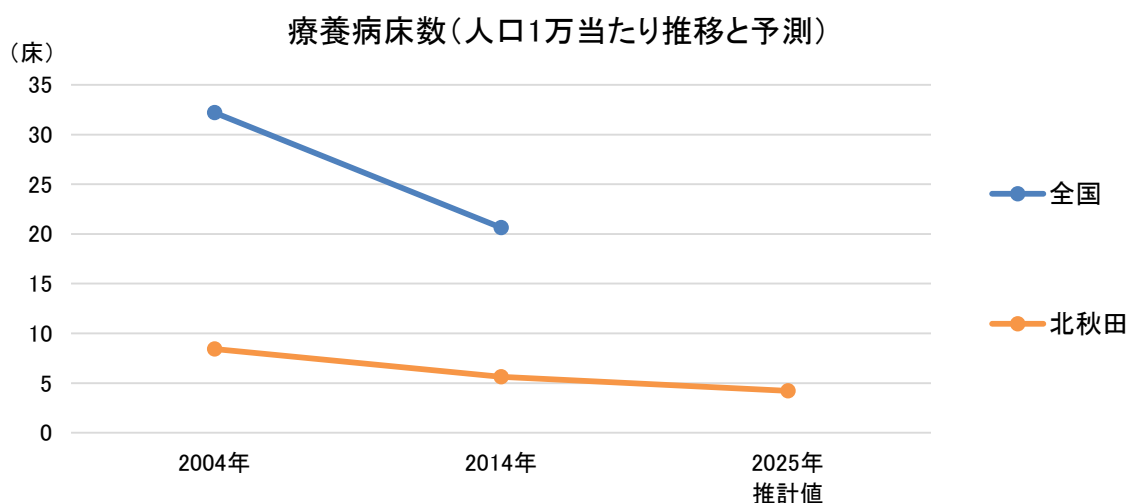
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が494床(人口1万人当たり114(全国平均84)偏差値61)であったが、2014年に247床(人口1万人当たり70(全国平均79)偏差値47)と、247床の減少、率にして50%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-25床(2025年の推計人口1万人当たり-9)になることが予想される。



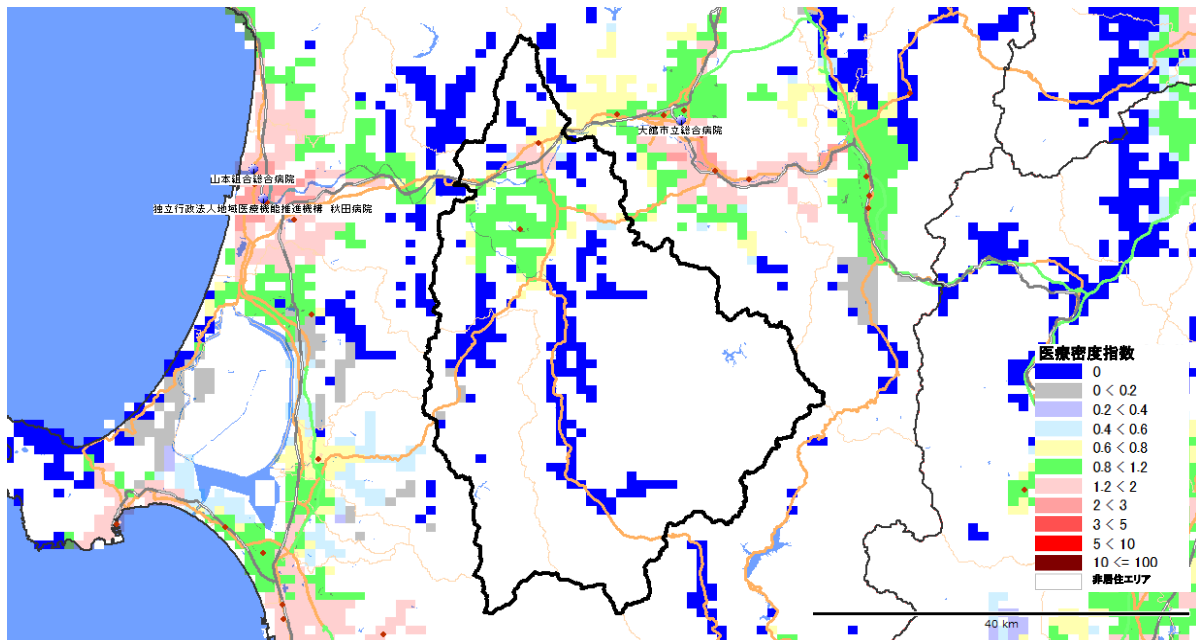
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が60床(75歳以上1000人当たり8(全国平均32)偏差値36)であったが、2014年に48床(75歳以上1000人当たり6(全国平均21)偏差値37)と、12床の減少、率にして20%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には35床(2025年の推計75歳以上1000人当たり4)になることが予想される。

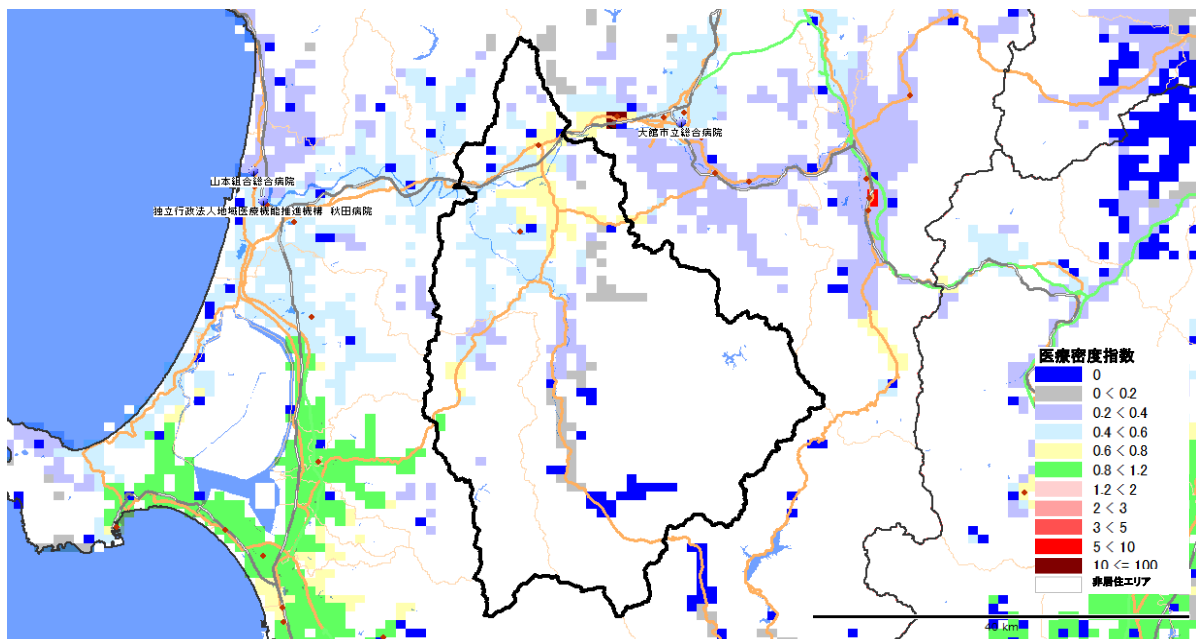


3. 医療密度⁵

図表5-2-1 急性期医療密度指数マップ



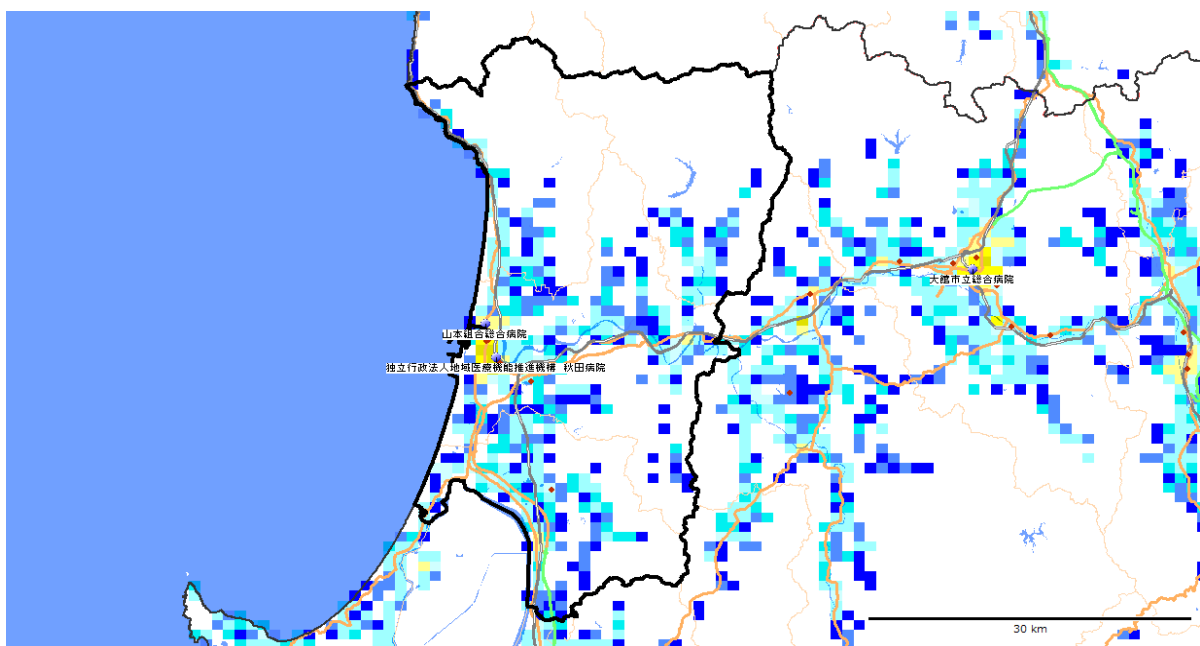
図表5-2-2 慢性期医療密度指数マップ



5-3. のしろ やまもと 能代・山本医療圏

構成市区町村¹⁰ [能代市](#) [藤里町](#) [三種町](#) [八峰町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(能代・山本医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 能代・山本(能代市)は、総人口約83千人(2015年推計)、面積1191km²、人口密度は70人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 能代・山本の総人口は2025年に69千人へと減少し(2015年比-17%)、2040年に51千人へと減少する(2025年比-26%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて18千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には16千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 能代・山本の一人当たり医療費(国保)は366千円(偏差値62)、介護給付費は314千円(偏差値66)であり、医療費は高く、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 能代・山本の一人当たり急性期医療密度指数²は1.44、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.29で、急性期の医療も慢性期の医療も充実している。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が44(病院医師数43、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は57と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は60で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は53とやや多い。能代・山本には、年間全身麻酔件数が500例以上の能代厚生医療センター(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 能代・山本の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1859人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が1081床(偏差値51)、高齢者住宅等が778床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1752人(75歳以上1000人当たりの偏差値70)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム49、介護療養型医療施設58、有料老人ホーム40、軽費ホーム47、グループホーム76、サ高住52である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値39と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値31と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、216人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+20%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

能代・山本医療圏の総人口は、2005年96656人が、2015年に83135人と14%減少し、2025年の人口が69428人と予測され、2005年→2025年の間に28%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年にほぼ増減なし、2015年から2025年にかけて8%程度の減少が予測される。

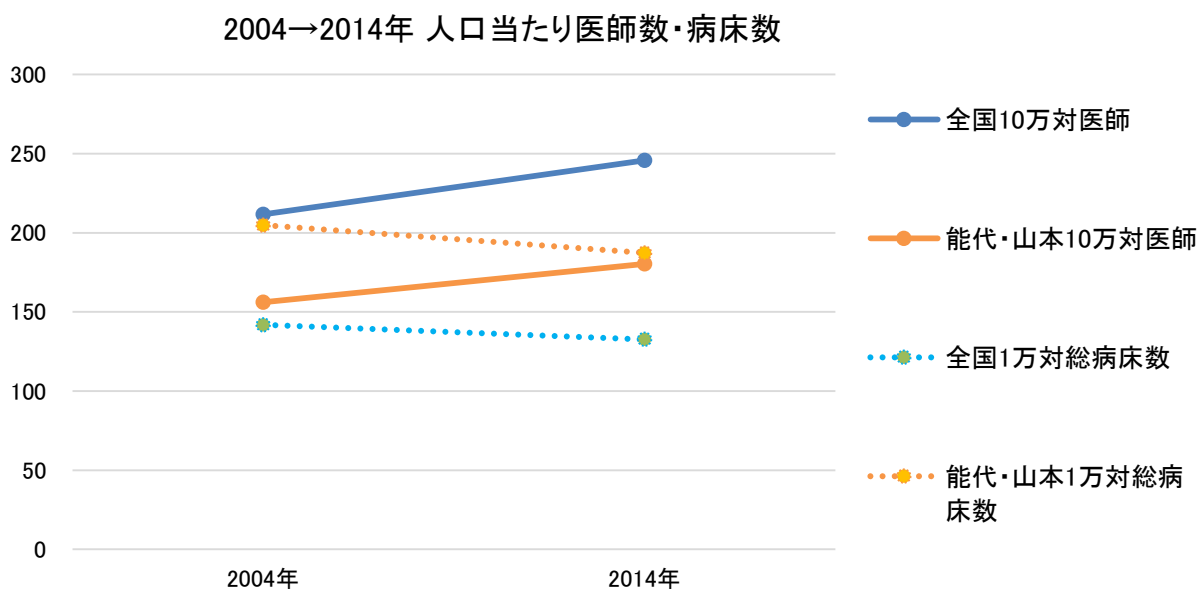
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が8(人口10万人当たり8.3病院(全国平均7.1)偏差値53)であったが、2014年に7(人口10万人当たり8.4病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が81(人口10万人当たり84診療所(全国平均76)偏差値54)であったが、2014年に73(人口10万人当たり88診療所(全国平均79)偏差値54)と、8診療所が減少した。

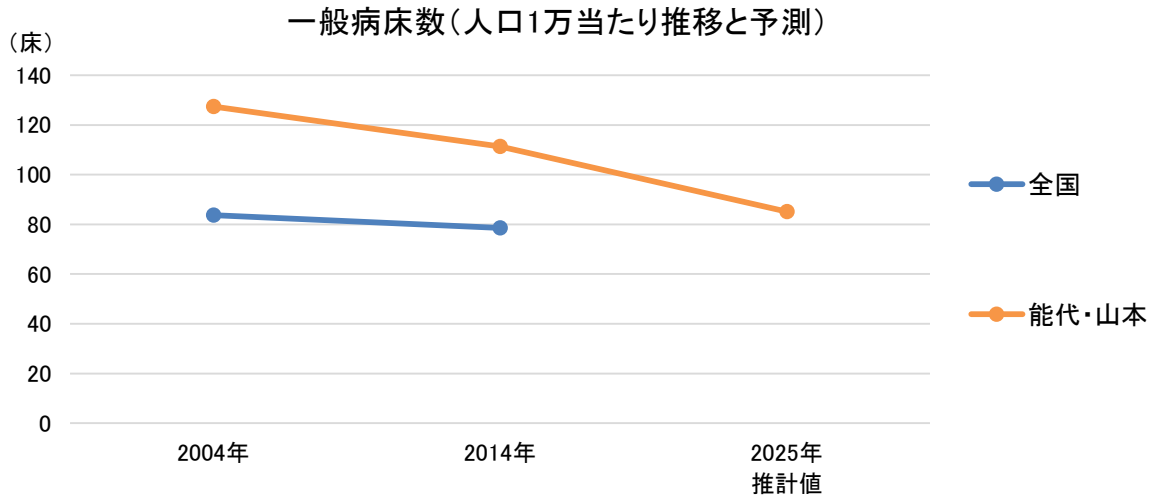
2004年の総病床数が1980床(人口1万人当たり205(全国平均142)偏差値61)であったが、2014年に1557床(人口1万人当たり187(全国平均133)偏差値60)と、423床の減少、率にして21%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が151人(人口10万人当たり156人(全国平均212人)偏差値43)であったが、2014年に150人(人口10万人当たり180人(全国平均246人)偏差値43)と、1人の減少、率にして1%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



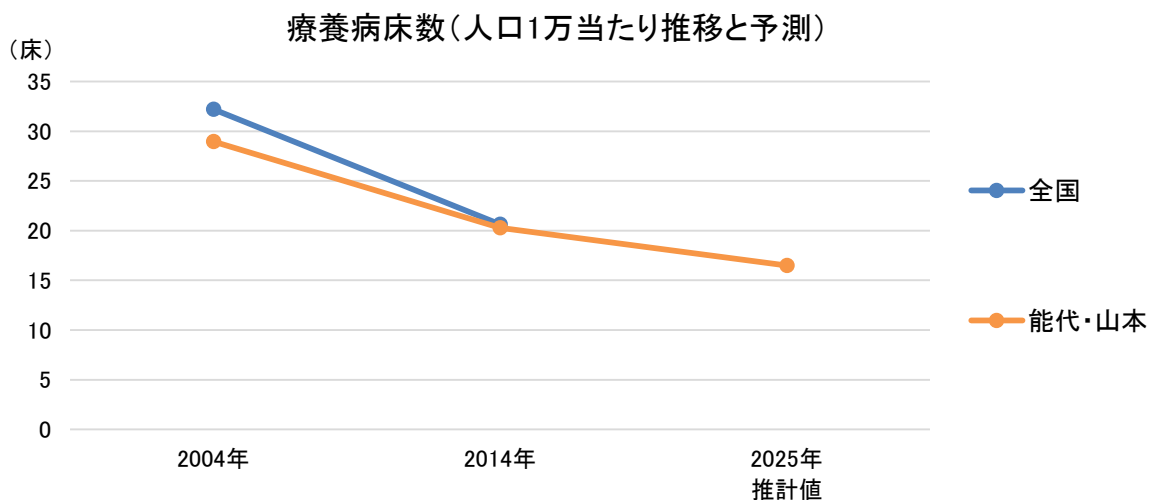
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1231床(人口1万人当たり127(全国平均84)偏差値65)であったが、2014年に926床(人口1万人当たり111(全国平均79)偏差値62)と、305床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には591床(2025年の推計人口1万人当たり85)になることが予想される。



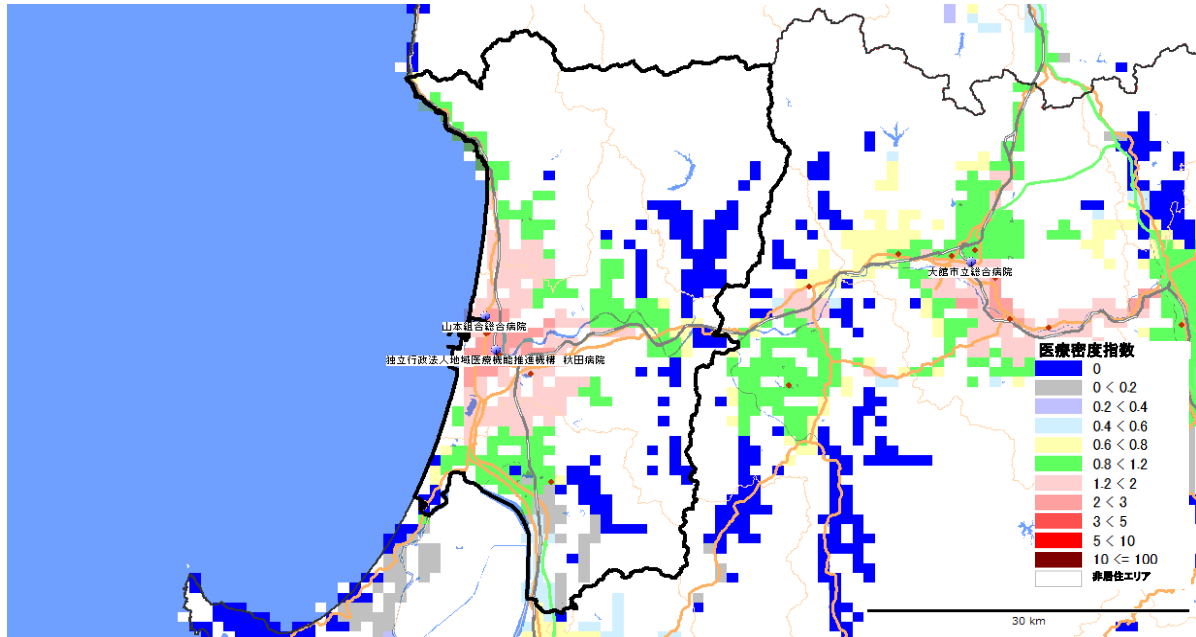
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が405床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に357床(75歳以上1000人当たり20(全国平均21)偏差値50)と、48床の減少、率にして12%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には304床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。

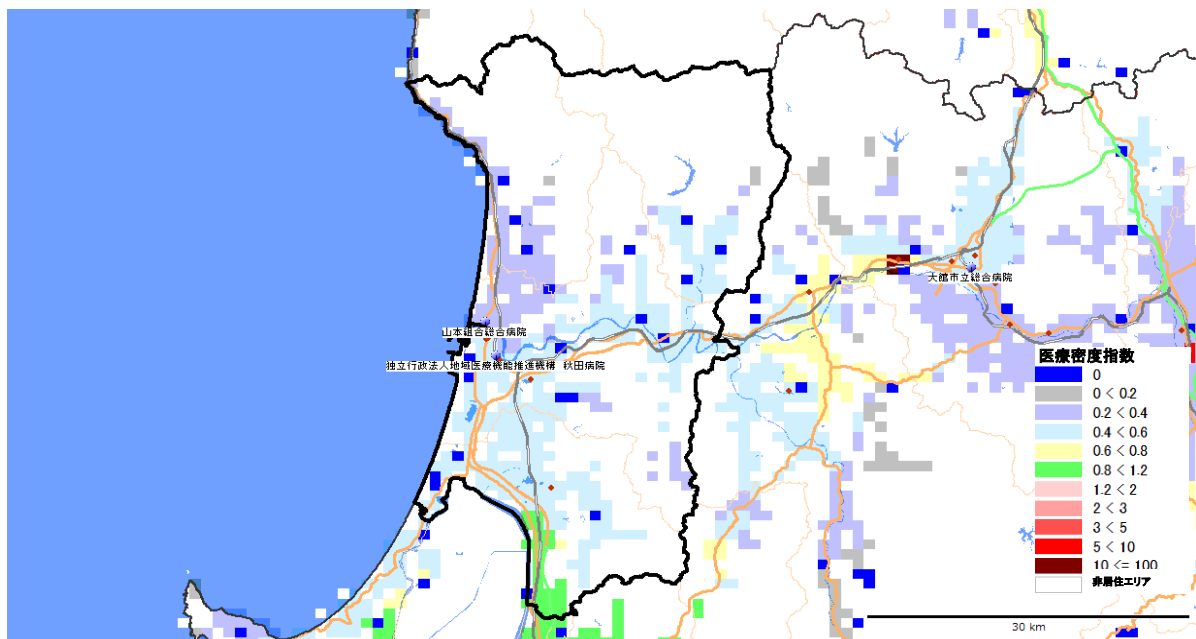


3. 医療密度⁵

図表5-3-1 急性期医療密度指数マップ



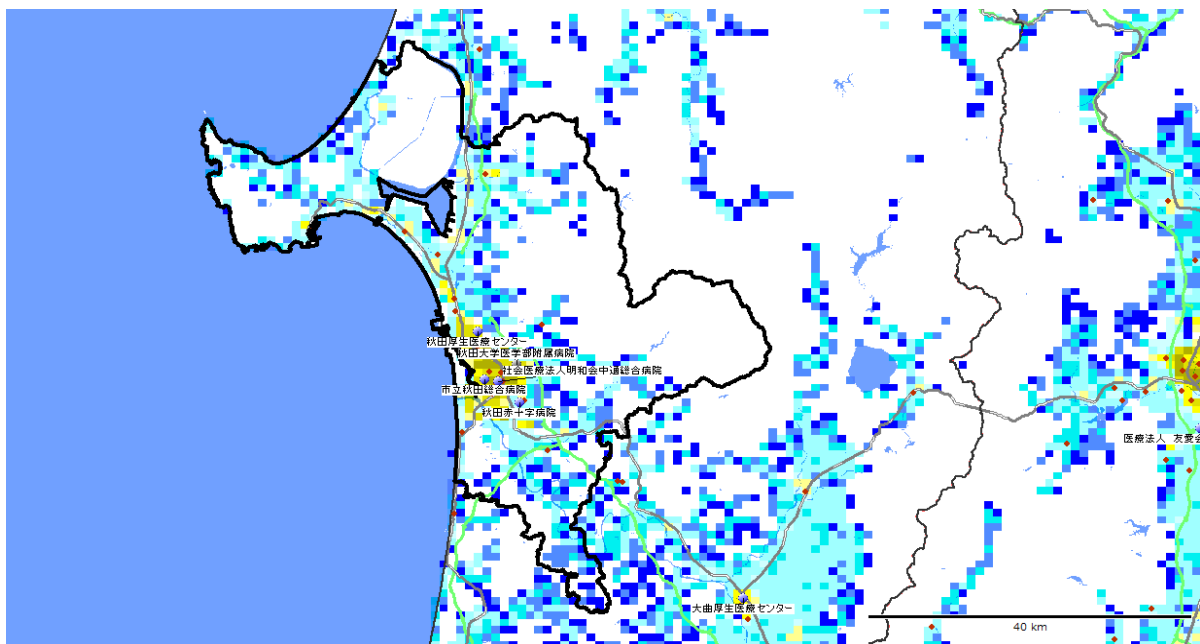
図表5-3-2 慢性期医療密度指数マップ



5-4. あきたしゅうへん 秋田周辺医療圏

構成市区町村¹⁰ [秋田市](#) [男鹿市](#) [湯上市](#) [五城目町](#)
[八郎潟町](#) [井川町](#) [大潟村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（秋田周辺医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 秋田周辺(秋田市)は、総人口約399千人(2015年推計)、面積1694km²、人口密度は235人/km²の地方都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 秋田周辺の総人口は2025年に359千人へと減少し(2015年比-10%)、2040年に291千人へと減少する(2025年比-19%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の62千人が、2025年にかけて76千人へと増加し(2015年比+23%)、2040年には79千人へと増加する(2025年比+4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 秋田周辺の一人当たり医療費(国保)は369千円(偏差値62)、介護給付費は292千円(偏差値60)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 秋田周辺の一人当たり急性期医療密度指数²は1.58、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.01で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が57(病院医師数61、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は59と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は57で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。秋田周辺には、年間全身麻酔件数が2000例以上の秋田大学医学部附属病院(I群)、1000例以上の秋田厚生医療センター(III群)、秋田赤十字病院(III群・救命)、中通総合病院(III群)、市立秋田総合病院(III群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値49と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は59で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 秋田周辺の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6074人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が3916床(偏差値53)、高齢者住宅等が2158床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5945人(75歳以上1000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設69、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム44、軽費ホーム53、グループホーム45、サ高住56である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値45とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値41と少ない。介護職員(在宅)の合計は、829人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-24%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

秋田周辺医療圏の総人口は、2005年432434人が、2015年に398802人と8%減少し、2025年の人口が359151人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に7%増加し、2015年から2025年にかけて2%程度の増加が予測される。

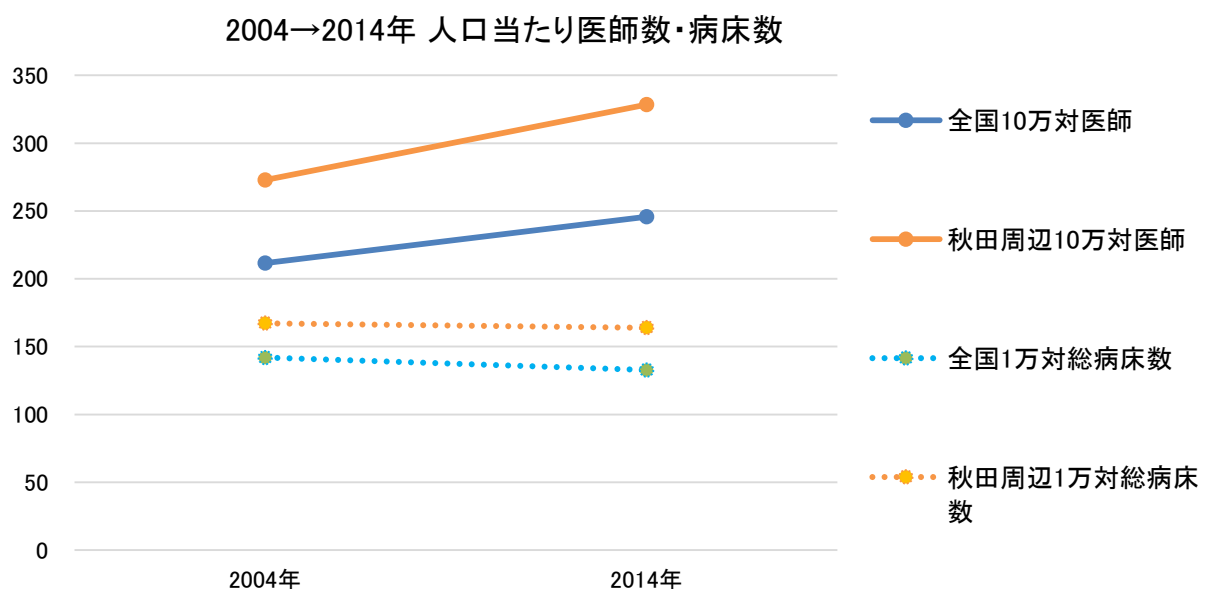
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が30(人口10万人当たり6.9病院(全国平均7.1)偏差値50)であったが、2014年に28(人口10万人当たり7病院(全国平均6.7)偏差値51)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が326(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に348(人口10万人当たり87診療所(全国平均79)偏差値54)と、22診療所が増加した。

2004年の総病床数が7232床(人口1万人当たり167(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に6539床(人口1万人当たり164(全国平均133)偏差値56)と、693床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

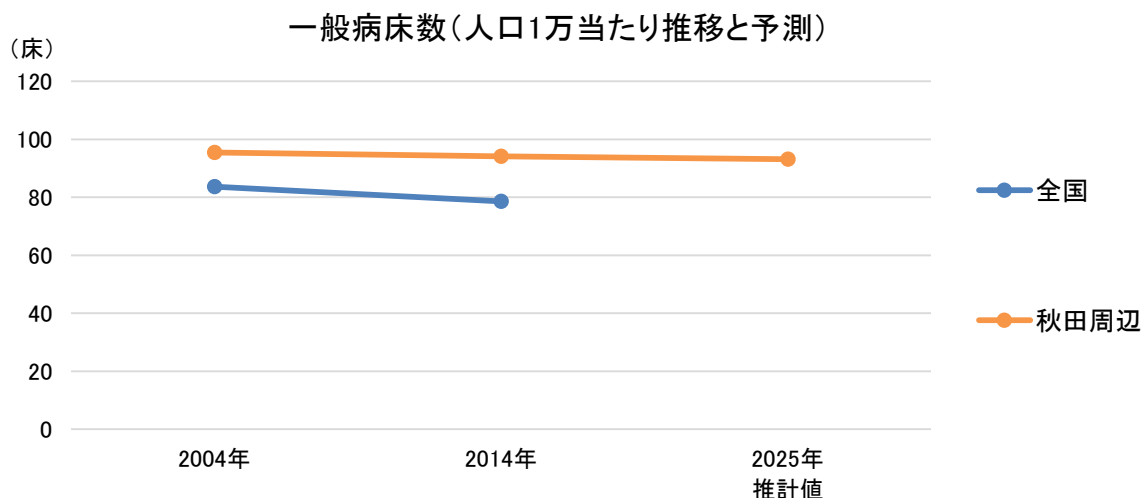
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1180人(人口10万人当たり273人(全国平均212人)偏差値57)であったが、2014年に1310人(人口10万人当たり328人(全国平均246人)偏差値58)と、130人の増加、率にして11%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



5. 秋田県（2016年版）

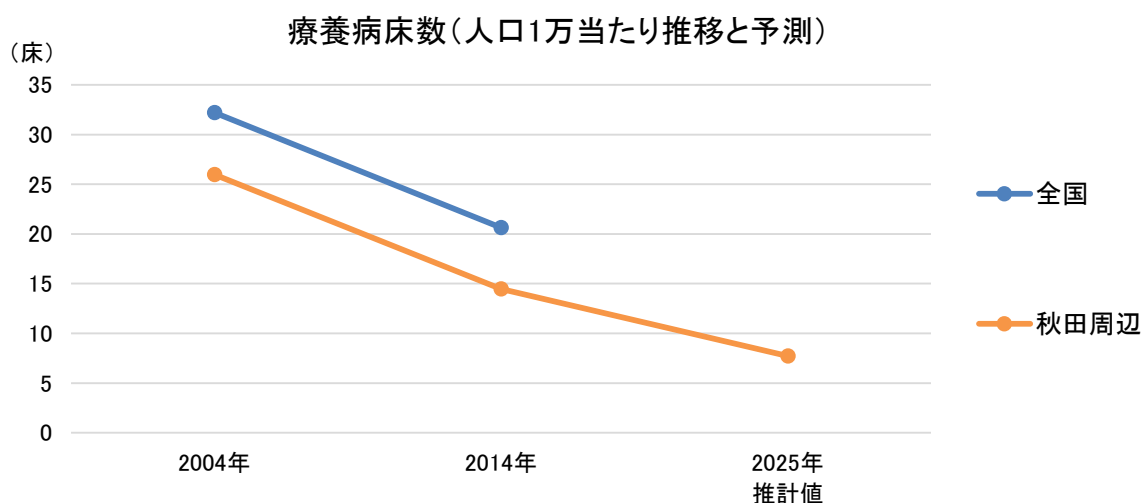
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が4125床(人口1万人当たり95(全国平均84)偏差値54)であったが、2014年に3753床(人口1万人当たり94(全国平均79)偏差値56)と、372床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3344床(2025年の推計人口1万人当たり93)になることが予想される。



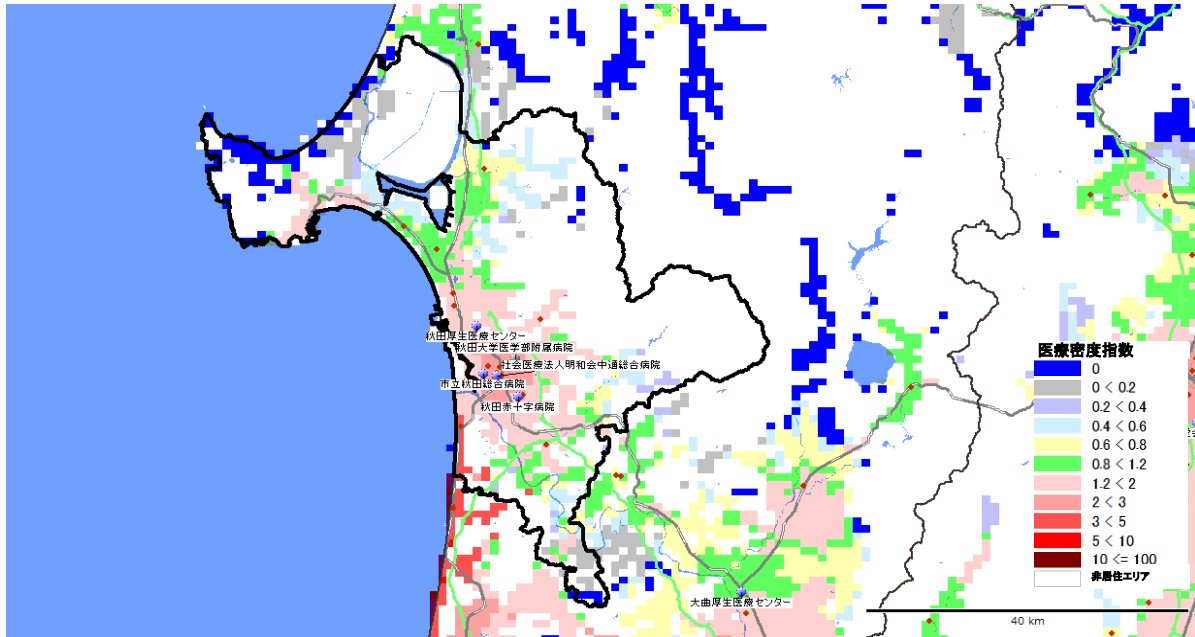
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1169床(75歳以上1000人当たり26(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に892床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値45)と、277床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には587床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

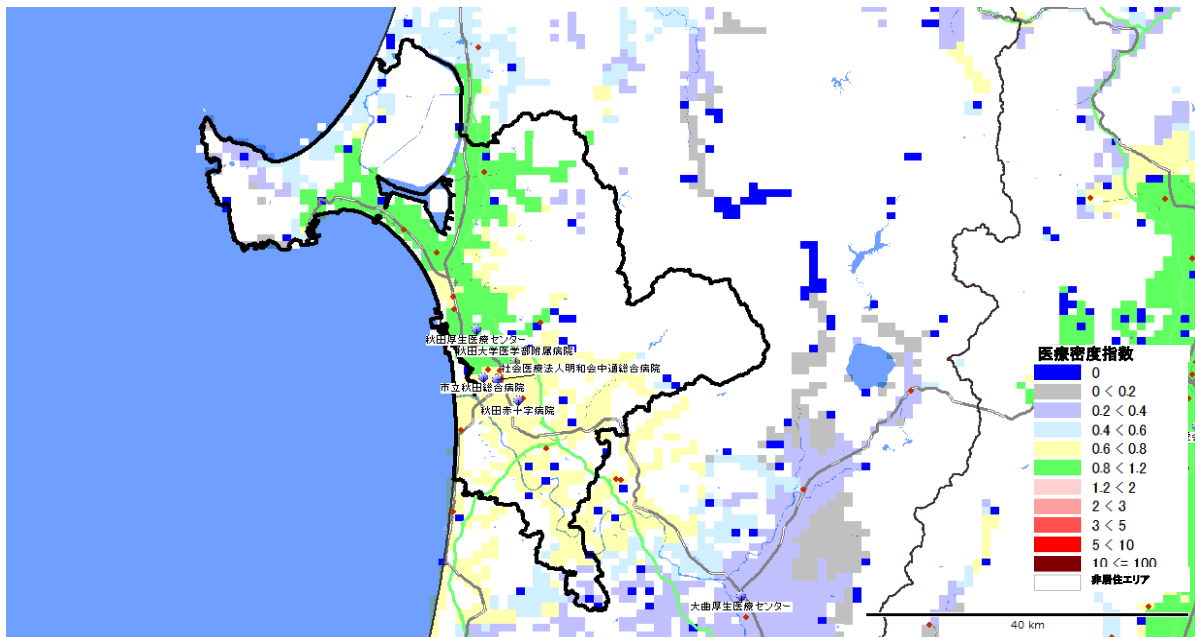


3. 医療密度⁵

図表5-4-1 急性期医療密度指数マップ



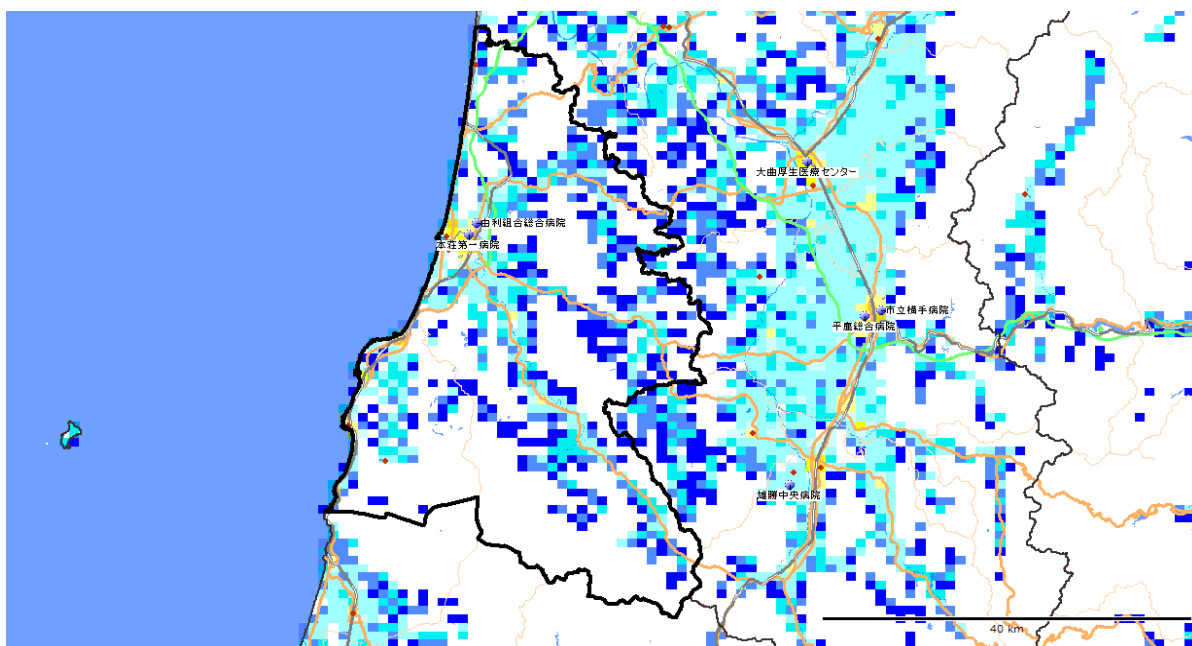
図表5-4-2 慢性期医療密度指数マップ



5-5. ゆりほんじょう 由利本荘・にかほ医療圏

構成市区町村¹⁰ [由利本荘市](#) [にかほ市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(由利本荘・にかほ医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 由利本荘・にかほ(由利本荘市)は、総人口約107千人(2015年推計)、面積1450km²、人口密度は74人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 由利本荘・にかほの総人口は2025年に94千人へと減少し(2015年比-12%)、2040年に74千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の19千人が、2025年にかけて21千人へと増加し(2015年比+11%)、2040年には21千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 由利本荘・にかほの一人当たり医療費(国保)は364千円(偏差値61)、介護給付費は302千円(偏差値63)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 由利本荘・にかほの一人当たり急性期医療密度指数²は1.85、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.29で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が45(病院医師数47、診療所医師数42)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は少ない。総看護師数の偏差値は56と多い。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は77で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。由利本荘・にかほには、年間全身麻酔件数が1000例以上の由利組合総合病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 由利本荘・にかほの総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1678人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1413床(偏差値60)、高齢者住宅等が265床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1855人(75歳以上1000人当たりの偏差値67)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設57、特別養護老人ホーム63、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホーム51、グループホーム46、サ高住35である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値35と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、152人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-3%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

由利本荘・にかほ医療圏の総人口は、2005年118527人が、2015年に106587人と10%減少し、2025年の人口が93758人と予測され、2005年→2025年の間に21%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の減少が予測される。

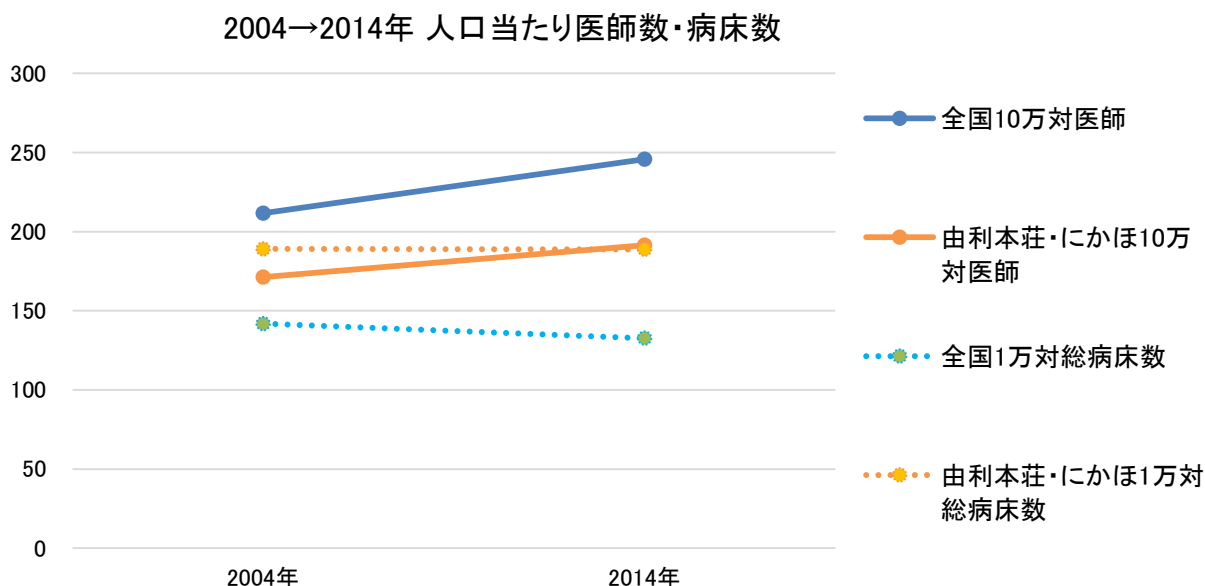
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9(人口10万人当たり7.6病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に8(人口10万人当たり7.5病院(全国平均6.7)偏差値52)となり、10年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が77(人口10万人当たり65診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に81(人口10万人当たり76診療所(全国平均79)偏差値48)と、4診療所が増加した。

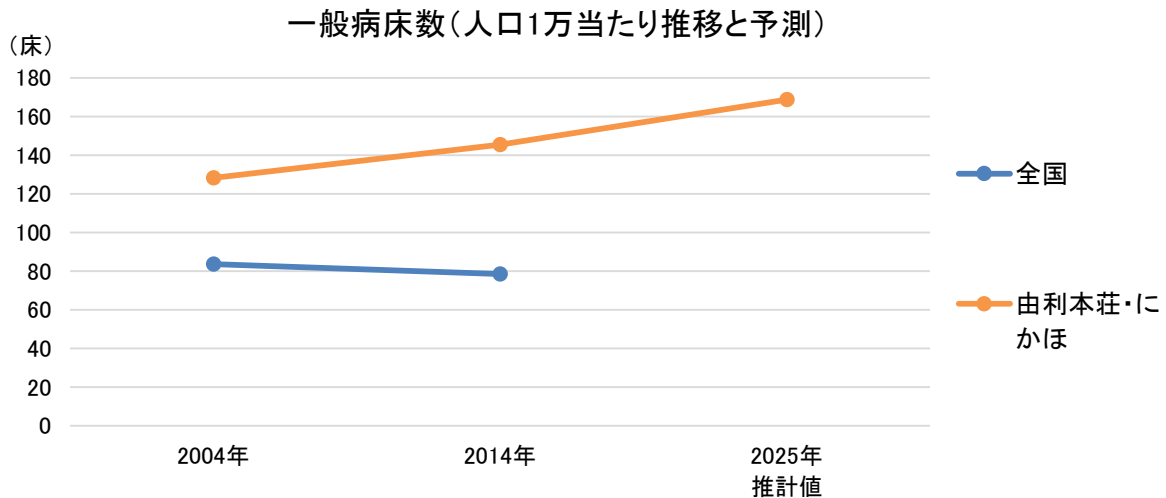
2004年の総病床数が2241床(人口1万人当たり189(全国平均142)偏差値58)であったが、2014年に2012床(人口1万人当たり189(全国平均133)偏差値60)と、229床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が203人(人口10万人当たり171人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に204人(人口10万人当たり191人(全国平均246人)偏差値44)と、1人の増加、率にして1%未満の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



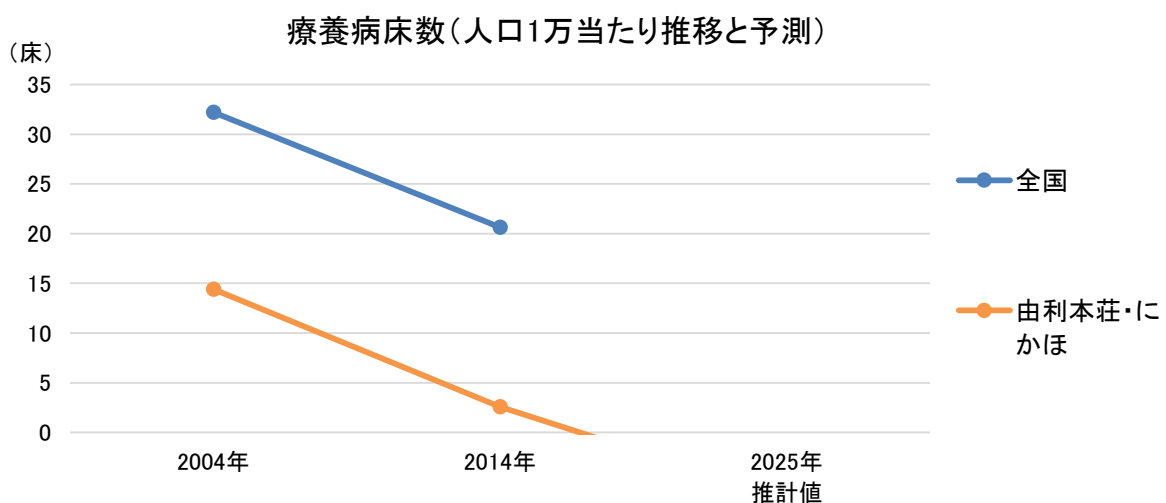
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1521床(人口1万人当たり128(全国平均84)偏差値66)であったが、2014年に1550床(人口1万人当たり145(全国平均79)偏差値75)と、29床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1582床(2025年の推計人口1万人当たり169)になることが予想される。



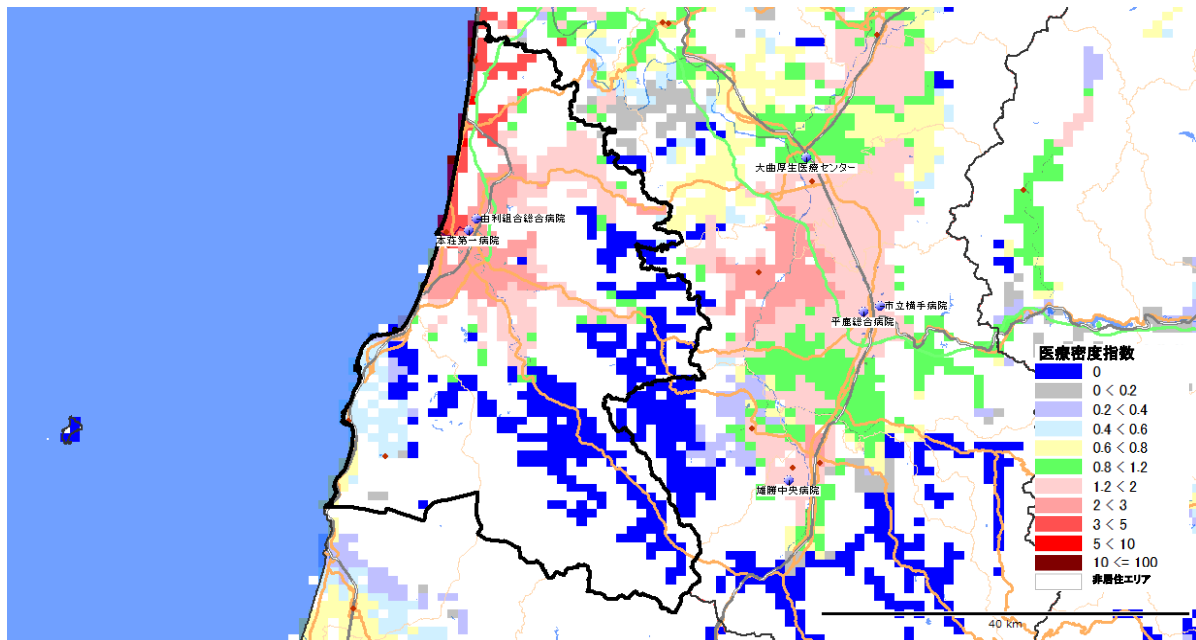
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が224床(75歳以上1000人当たり14(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に50床(75歳以上1000人当たり3(全国平均21)偏差値34)と、174床の減少、率にして78%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には-141床(2025年の推計75歳以上1000人当たり-7)になることが予想される。

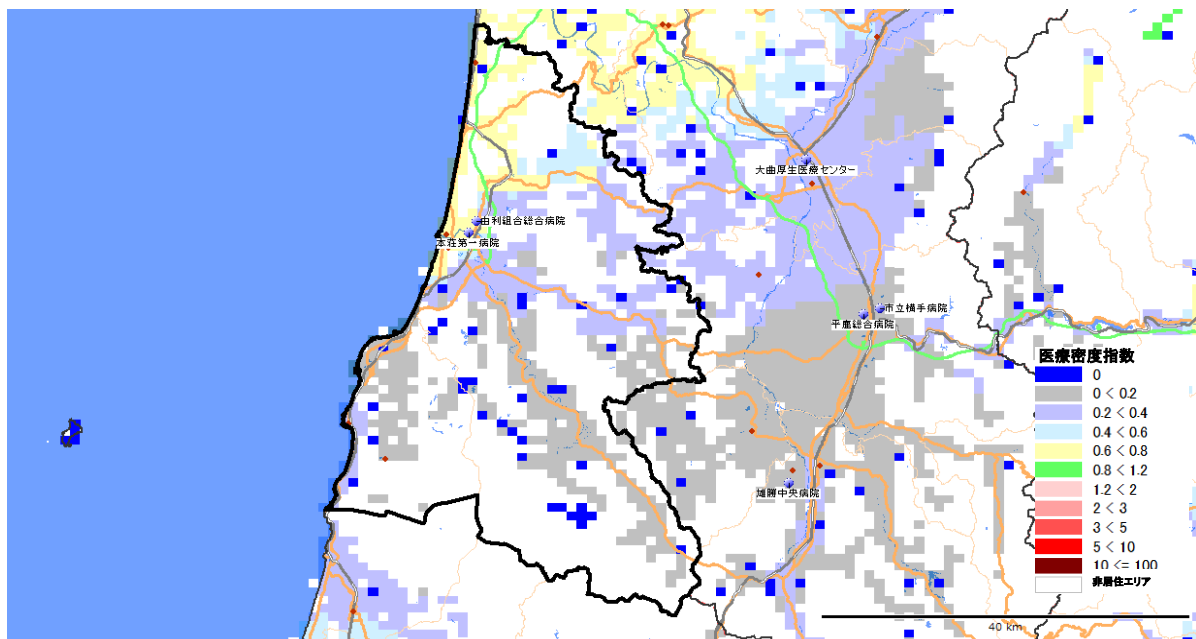


3. 医療密度⁵

図表5-5-1 急性期医療密度指数マップ



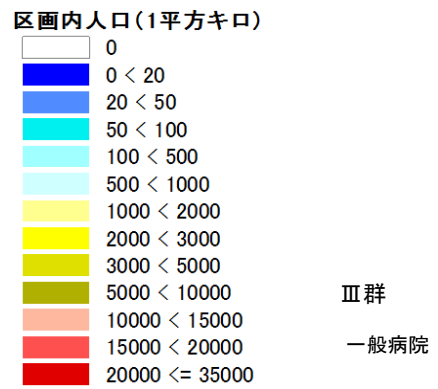
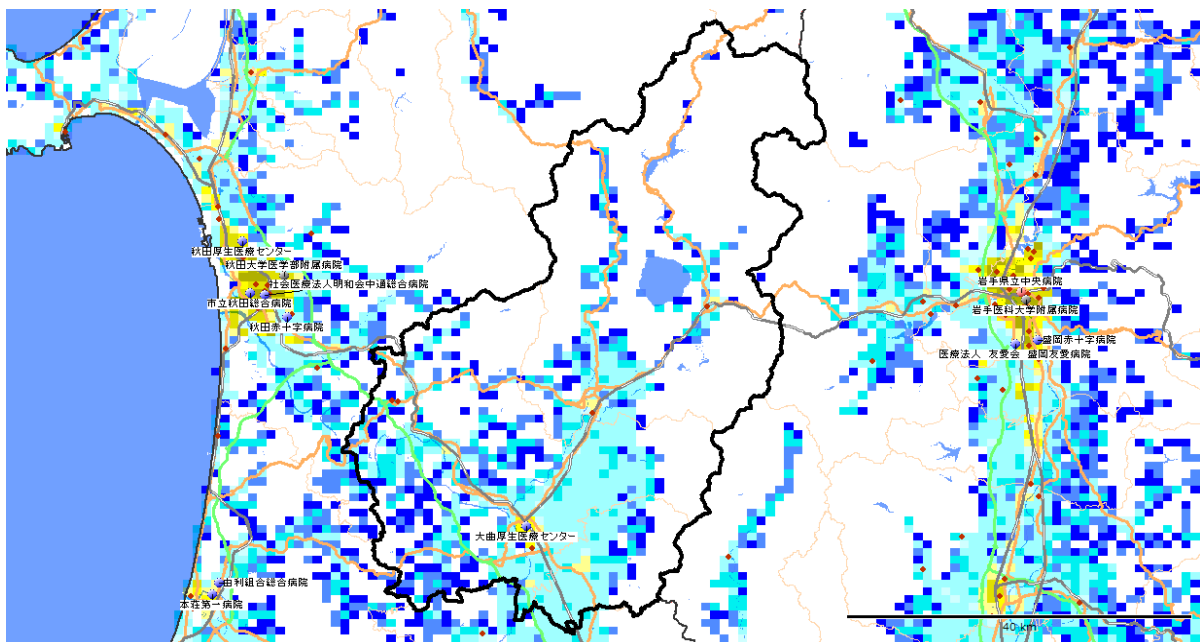
図表5-5-2 慢性期医療密度指数マップ



5-6. だいせん せんぼく 大仙・仙北医療圏

構成市区町村¹⁰ [大仙市](#) [仙北市](#) [美郷町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



（大仙・仙北医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 大仙・仙北(大仙市)は、総人口約130千人(2015年推計)、面積2129km²、人口密度は61人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 大仙・仙北の総人口は2025年に111千人へと減少し(2015年比-15%)、2040年に85千人へと減少する(2025年比-23%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の27千人が、2025年にかけて27千人とほぼ変わらず(2015年比±0%)、2040年には25千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 大仙・仙北の一人当たり医療費(国保)は315千円(偏差値49)、介護給付費は315千円(偏差値67)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は非常に高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 大仙・仙北の一人当たり急性期医療密度指数²は1.13、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.53で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が41(病院医師数40、診療所医師数44)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は44と少ない。大仙・仙北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の大曲厚生医療センター(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は55で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 大仙・仙北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2664人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1687床(偏差値53)、高齢者住宅等が977床(偏差値48)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回り、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2526人(75歳以上1000人当たりの偏差値66)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設56、特別養護老人ホーム54、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム45、軽費ホーム49、グループホーム61、サ高住45である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値36と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値35と少ない。介護職員(在宅)の合計は、265人(75歳以上1000人当たりの偏差値43)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+18%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰みみである。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

大仙・仙北医療圏の総人口は、2005年148258人が、2015年に130142人と12%減少し、2025年の人口が111415人と予測され、2005年→2025年の間に25%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて7%程度の減少が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

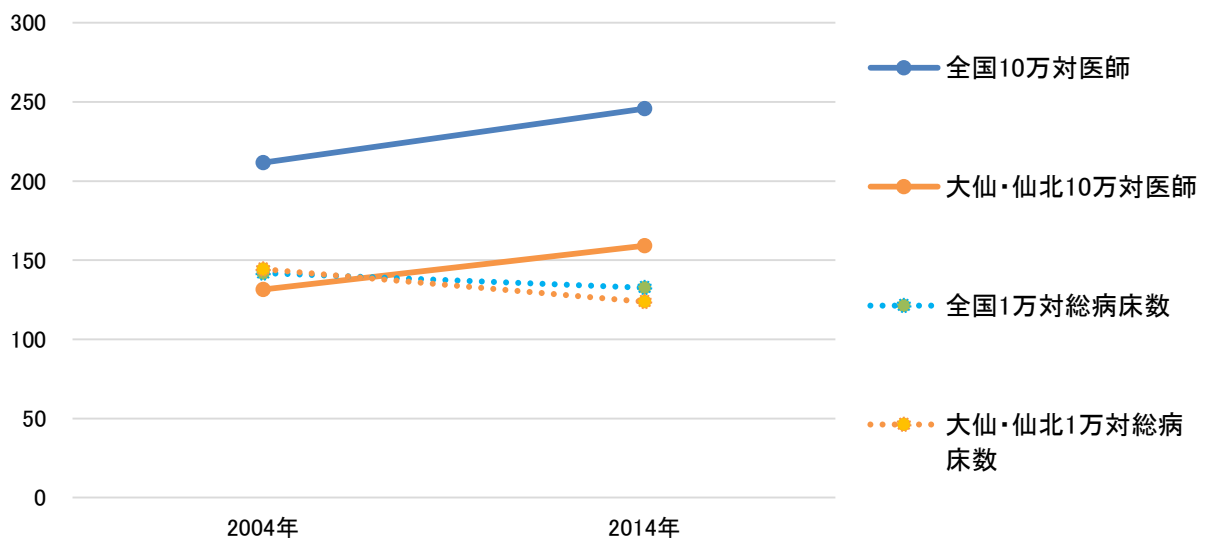
2004年の病院数が8(人口10万人当たり5.4病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に8(人口10万人当たり6.1病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が100(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に98(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、2診療所が減少した。

2004年の総病床数が2141床(人口1万人当たり144(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に1611床(人口1万人当たり124(全国平均133)偏差値48)と、530床の減少、率にして25%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が195人(人口10万人当たり132人(全国平均212人)偏差値40)であったが、2014年に207人(人口10万人当たり159人(全国平均246人)偏差値41)と、12人の増加、率にして6%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

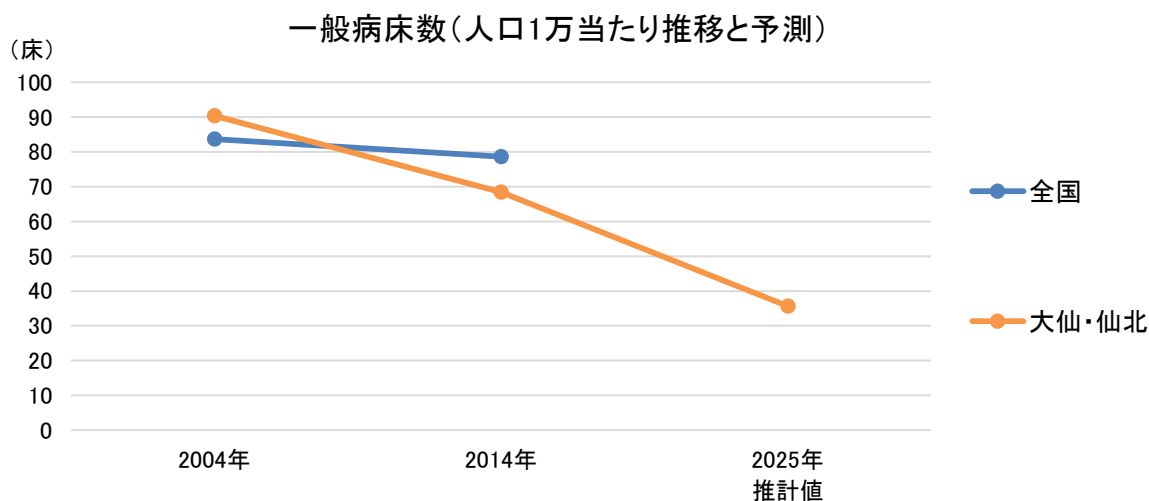
2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



5. 秋田県（2016年版）

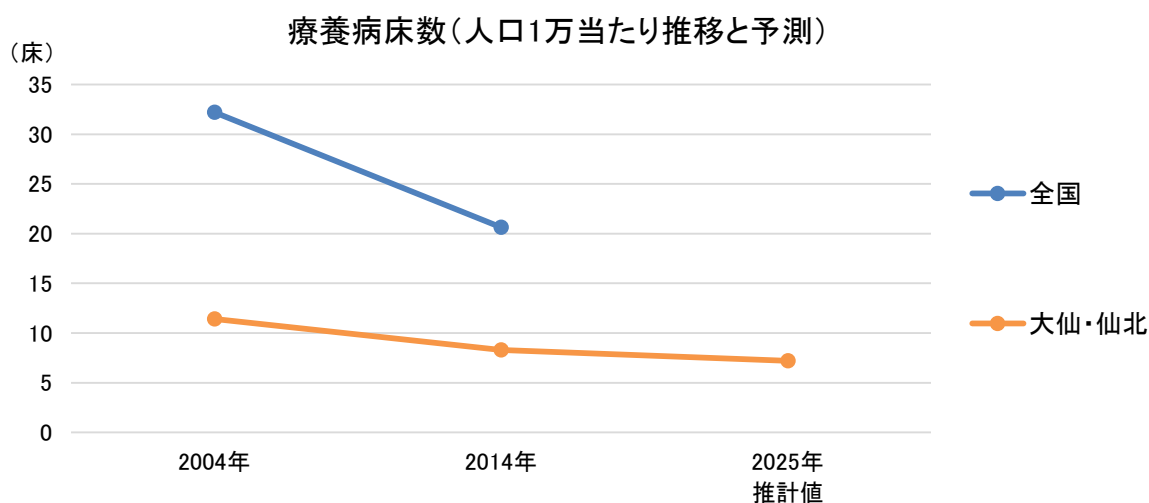
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1340床(人口1万人当たり90(全国平均84)偏差値52)であったが、2014年に891床(人口1万人当たり68(全国平均79)偏差値46)と、449床の減少、率にして34%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には397床(2025年の推計人口1万人当たり36)になることが予想される。



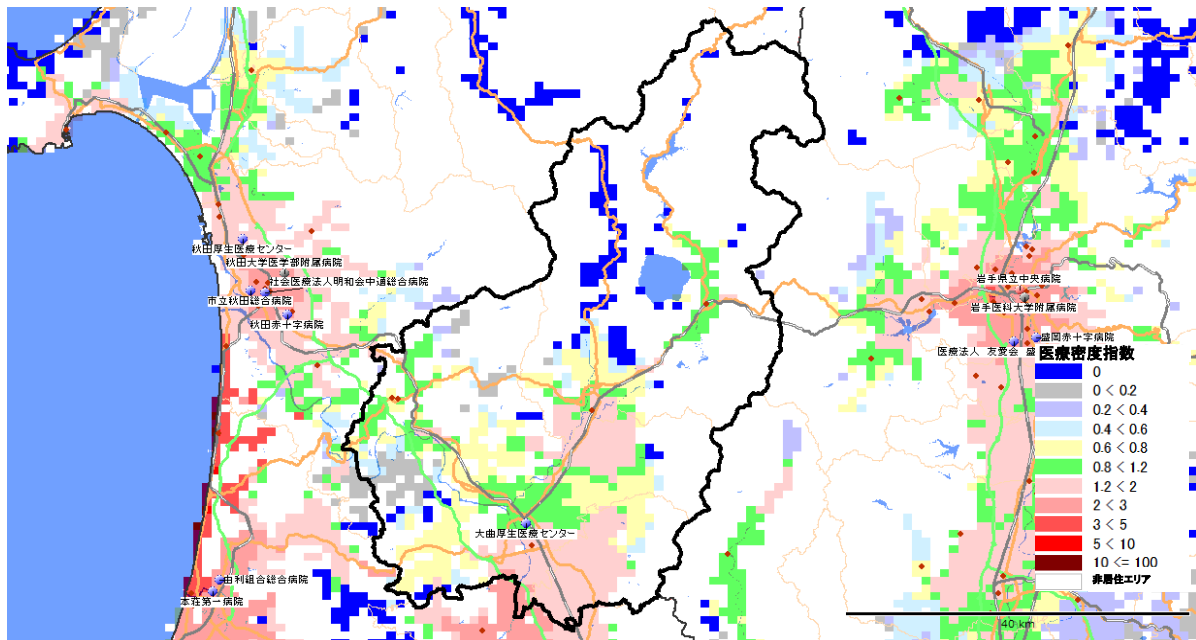
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が247床(75歳以上1000人当たり11(全国平均32)偏差値38)であったが、2014年に221床(75歳以上1000人当たり8(全国平均21)偏差値39)と、26床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には192床(2025年の推計75歳以上1000人当たり7)になることが予想される。

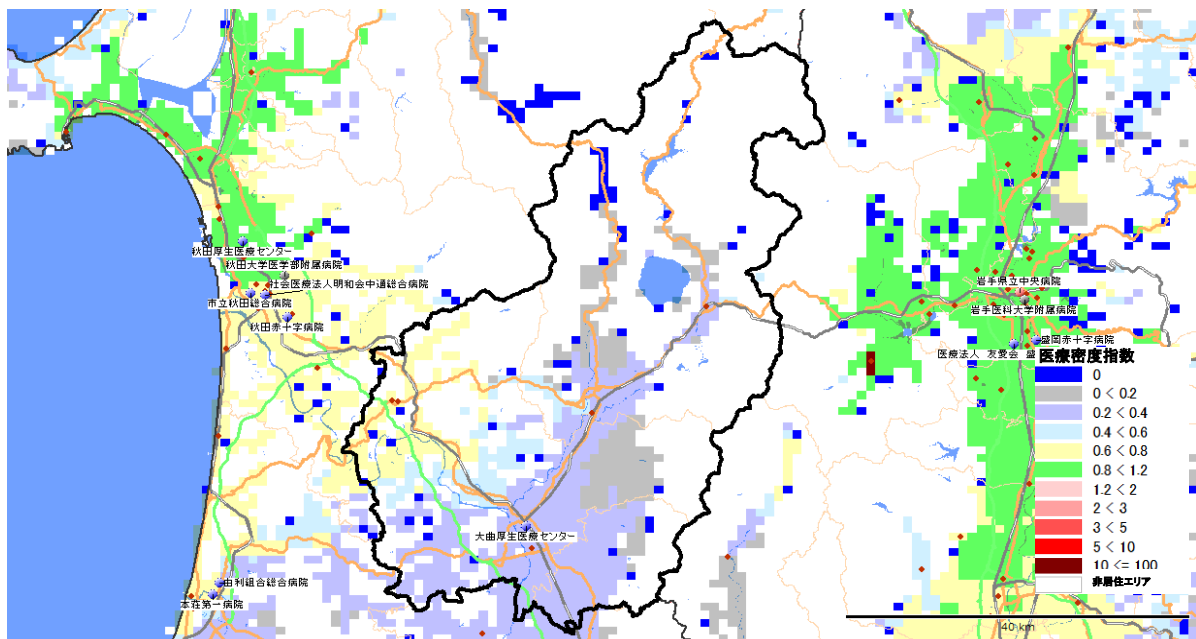


3. 医療密度⁵

図表5-6-1 急性期医療密度指数マップ



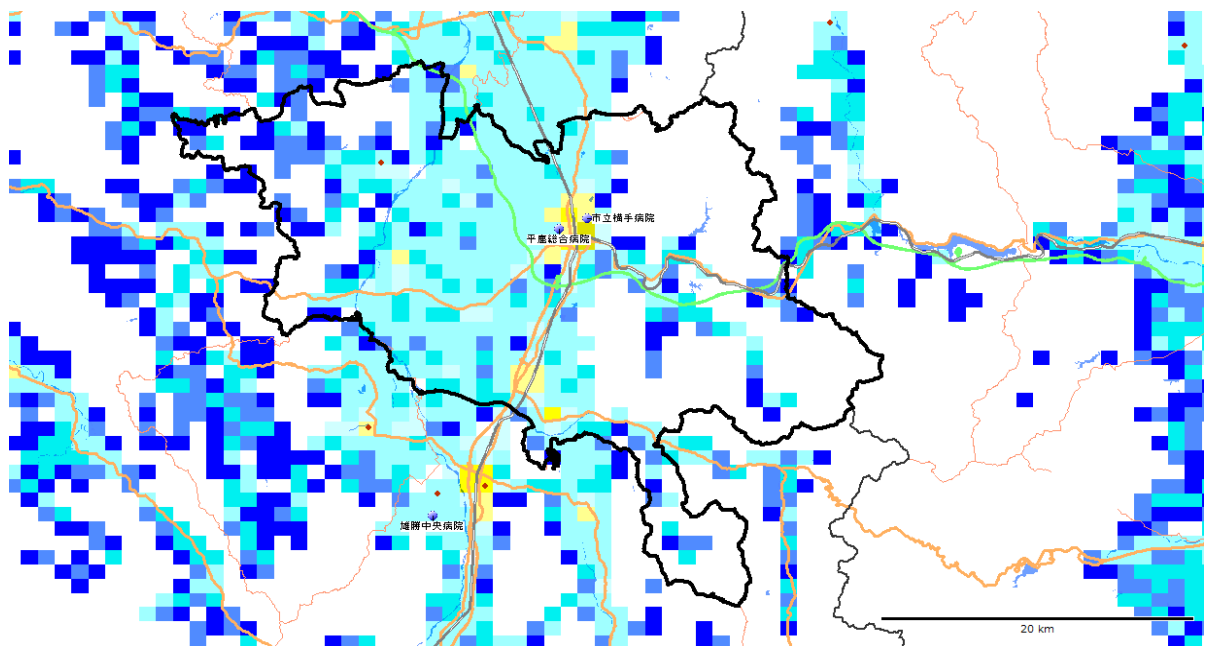
図表5-6-2 慢性期医療密度指数マップ



5-7. よこて 横手医療圏

構成市区町村¹⁰ [横手市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(横手医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 横手(横手市)は、総人口約92千人(2015年推計)、面積693km²、人口密度は133人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 横手の総人口は2025年に80千人へと減少し(2015年比-13%)、2040年に63千人へと減少する(2025年比-21%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の18千人が、2025年にかけて19千人へと増加し(2015年比+6%)、2040年には18千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 横手の一人当たり医療費(国保)は327千円(偏差値52)、介護給付費は301千円(偏差値63)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 横手の一人当たり急性期医療密度指数²は1.36、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.38で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療はかなり少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が49(病院医師数50、診療所医師数47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は56と多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は55とやや多い。横手には、年間全身麻酔件数が1000例以上の平鹿総合病院(Ⅲ群)、500例以上の市立横手病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は40と療養病床数は少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は0である。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は56で精神病床数は多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は54で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 横手の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1372人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が833床(偏差値38)、高齢者住宅等が539床(偏差値43)である。介護保険施設、高齢者住宅等ともに全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1699人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設54、特別養護老人ホーム37、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム39、軽費ホーム56、グループホーム54、サ高住46である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値42と少なく、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値33と非常に少ない。介護職員(在宅)の合計は、193人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-24%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

横手医療圏の総人口は、2005年103652人が、2015年に92477人と11%減少し、2025年の人口が80422人と予測され、2005年→2025年の間に22%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に1%減少し、2015年から2025年にかけて5%程度の減少が予測される。

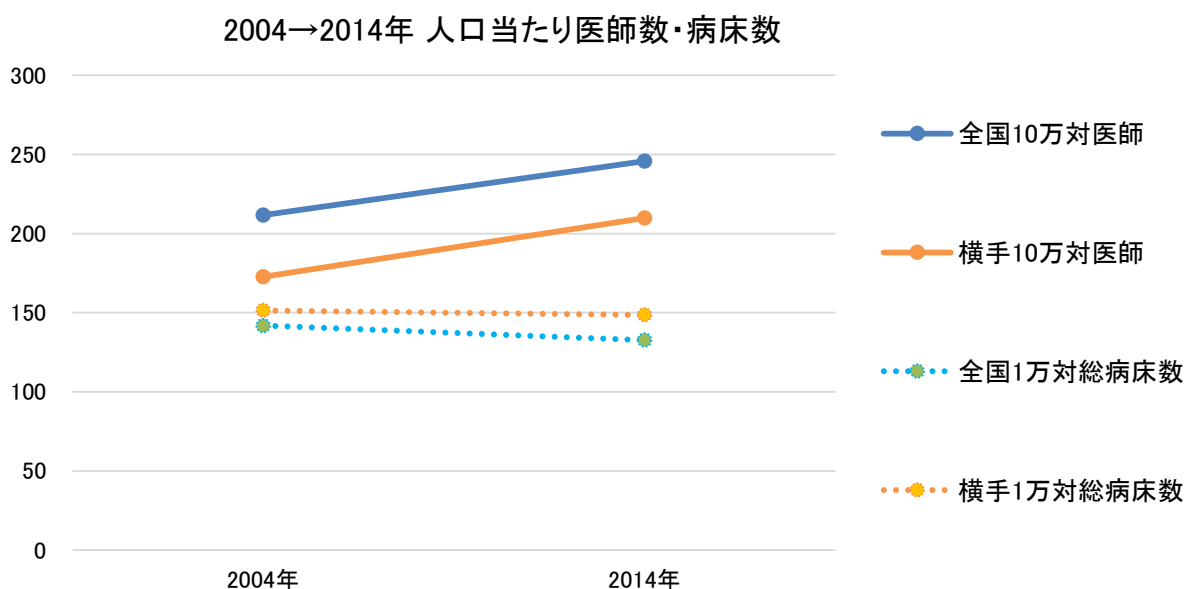
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が4(人口10万人当たり3.9病院(全国平均7.1)偏差値42)であったが、2014年に4(人口10万人当たり4.3病院(全国平均6.7)偏差値44)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が85(人口10万人当たり82診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に81(人口10万人当たり88診療所(全国平均79)偏差値54)と、4診療所が減少した。

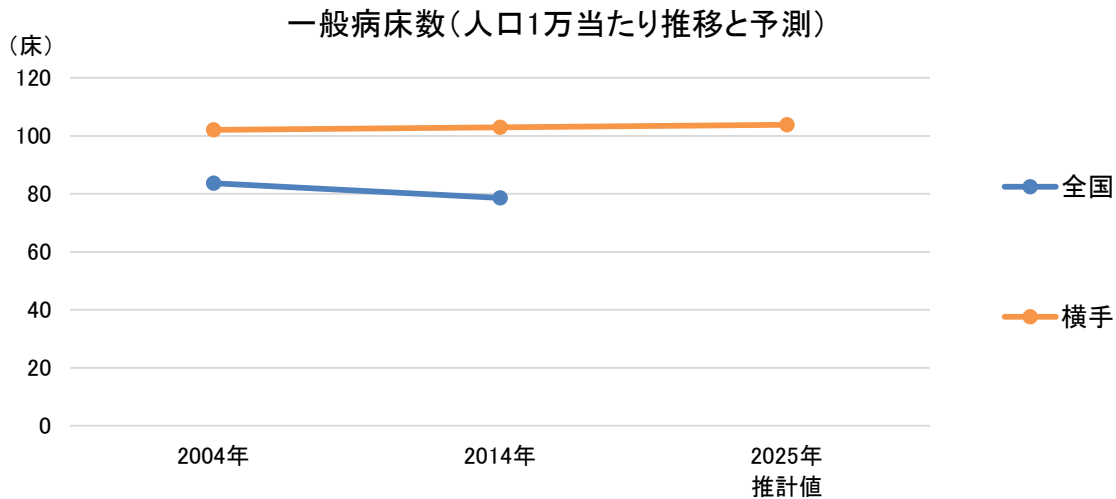
2004年の総病床数が1570床(人口1万人当たり151(全国平均142)偏差値52)であったが、2014年に1374床(人口1万人当たり149(全国平均133)偏差値53)と、196床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が179人(人口10万人当たり173人(全国平均212人)偏差値45)であったが、2014年に194人(人口10万人当たり210人(全国平均246人)偏差値46)と、15人の増加、率にして8%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



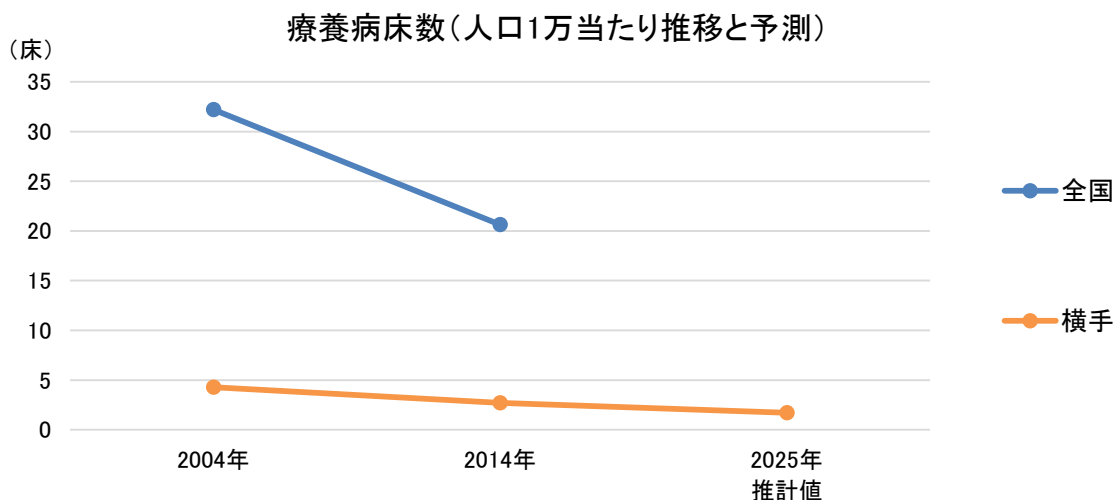
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が1058床(人口1万人当たり102(全国平均84)偏差値57)であったが、2014年に952床(人口1万人当たり103(全国平均79)偏差値59)と、106床の減少、率にして10%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には835床(2025年の推計人口1万人当たり104)になることが予想される。



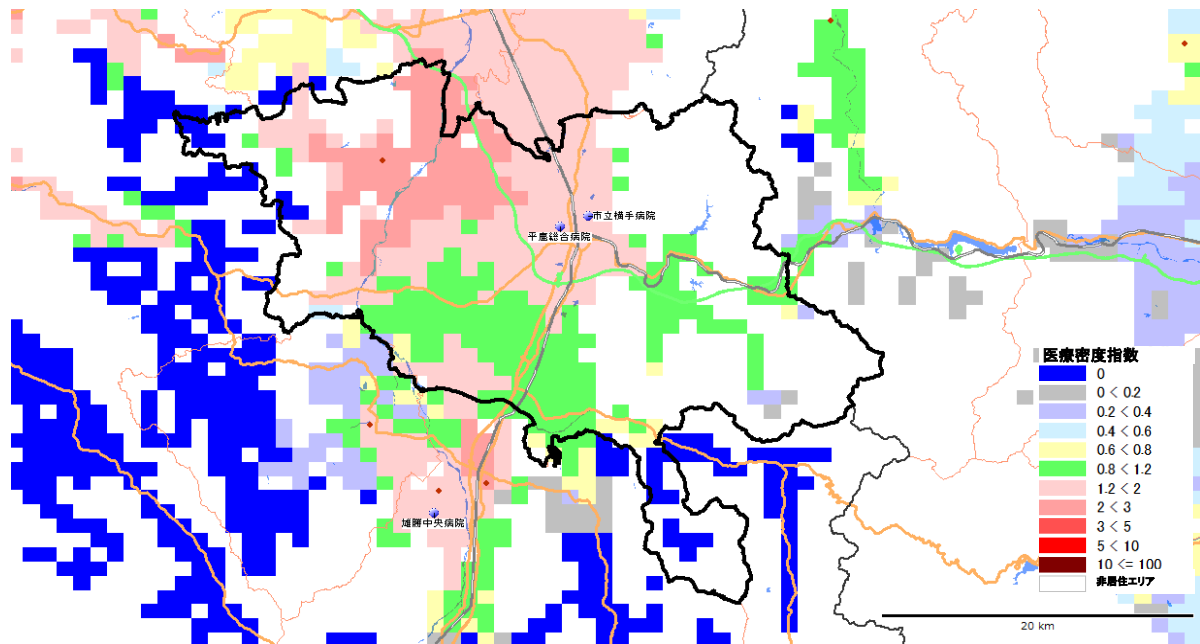
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が66床(75歳以上1000人当たり4(全国平均32)偏差値34)であったが、2014年に50床(75歳以上1000人当たり3(全国平均21)偏差値35)と、16床の減少、率にして24%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には32床(2025年の推計75歳以上1000人当たり2)になることが予想される。

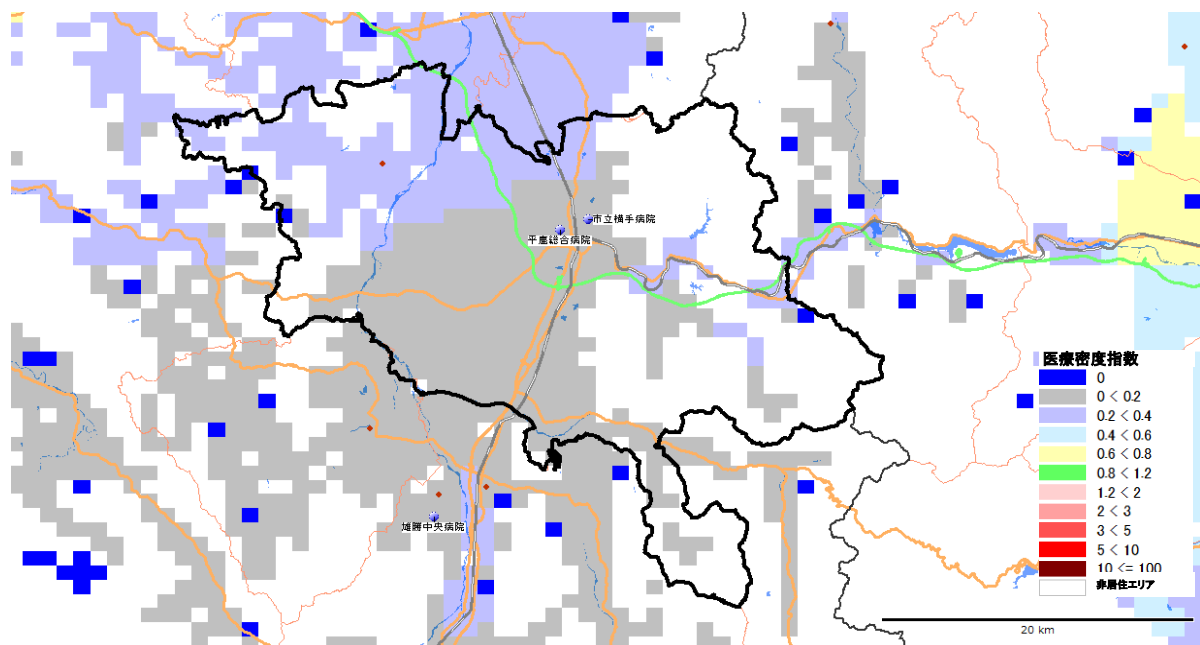


3. 医療密度⁵

図表5-7-1 急性期医療密度指数マップ



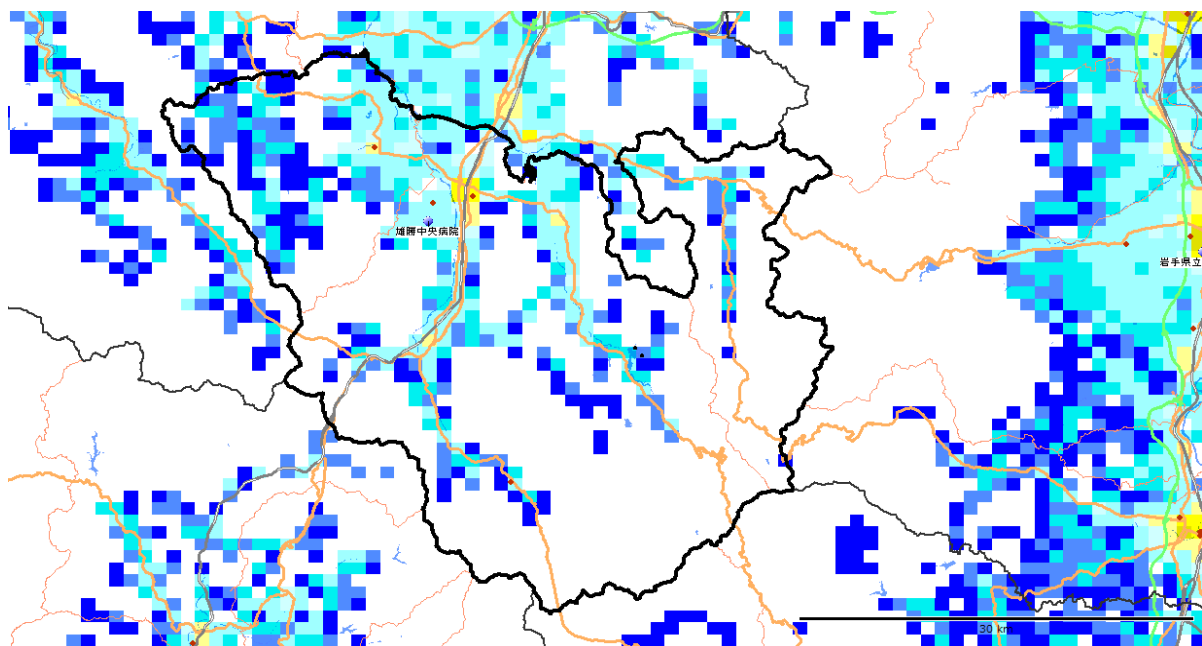
図表5-7-2 慢性期医療密度指数マップ



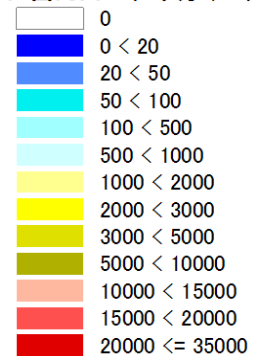
5-8. ゆざわ おがち 湯沢・雄勝医療圏

構成市区町村¹⁰ [湯沢市](#) [羽後町](#) [東成瀬村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（湯沢・雄勝医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 湯沢・雄勝（湯沢市）は、総人口約65千人（2015年推計）、面積1225km²、人口密度は53人/km²の過疎地域型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 湯沢・雄勝の総人口は2025年に54千人へと減少し（2015年比-17%）、2040年に40千人へと減少する（2025年比-26%）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の13千人が、2025年にかけて13千人とほぼ変わらず（2015年比±0%）、2040年には13千人とほぼ変わらない（2025年比±0%）ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 湯沢・雄勝の一人当たり医療費（国保）は314千円（偏差値49）、介護給付費は275千円（偏差値56）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 湯沢・雄勝の一人当たり急性期医療密度指数²は0.84、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.68で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が37（病院医師数39、診療所医師数34）と、総医師数、病院医師数はともに少なく、診療所医師数は非常に少ない。総看護師数の偏差値は44と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。湯沢・雄勝には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値40と少なく、回復期病床数は偏差値56と多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 湯沢・雄勝の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、1206人（75歳以上1000人当たりの偏差値44）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が926床（偏差値57）、高齢者住宅等が280床（偏差値38）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、1101人（75歳以上1000人当たりの偏差値55）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設63、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム38、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム47、サ高住45である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値32と非常に少なく、在宅療養支援病院は存在しない。また、訪問看護ステーションは偏差値30と非常に少ない。介護職員（在宅）の合計は、92人（75歳以上1000人当たりの偏差値38）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は+7%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

湯沢・雄勝医療圏の総人口は、2005年76737人が、2015年に64580人と16%減少し、2025年の人口が53779人と予測され、2005年→2025年の間に30%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に6%減少し、2015年から2025年にかけて9%程度の減少が予測される。

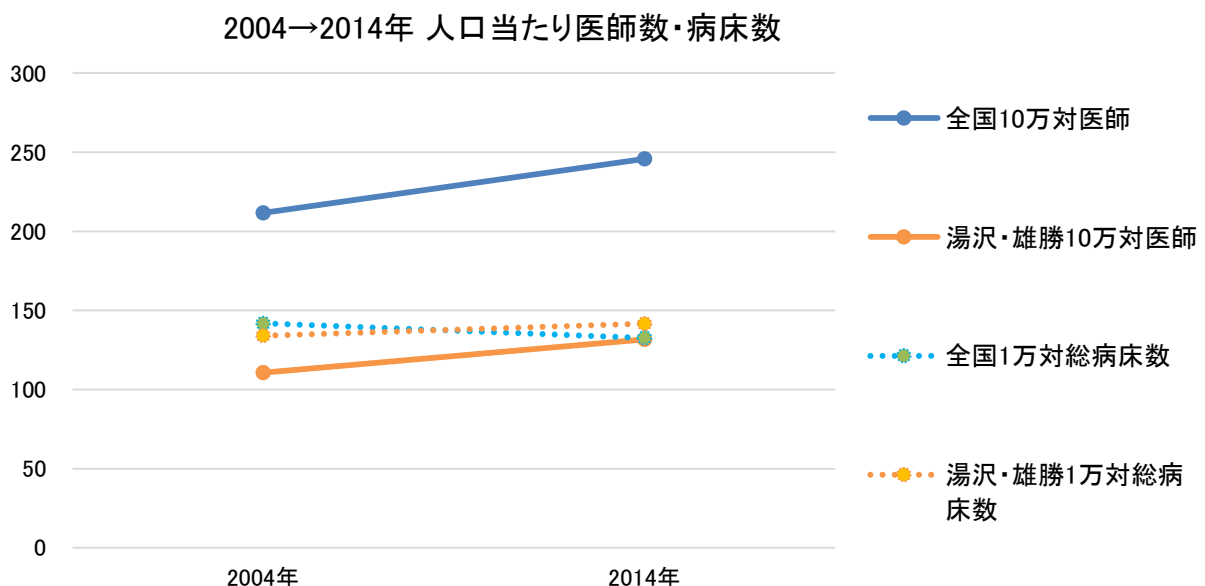
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が5(人口10万人当たり6.5病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に5(人口10万人当たり7.7病院(全国平均6.7)偏差値53)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が40(人口10万人当たり52診療所(全国平均76)偏差値38)であったが、2014年に41(人口10万人当たり63診療所(全国平均79)偏差値42)と、1診療所が増加した。

2004年の総病床数が1029床(人口1万人当たり134(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に915床(人口1万人当たり142(全国平均133)偏差値52)と、114床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

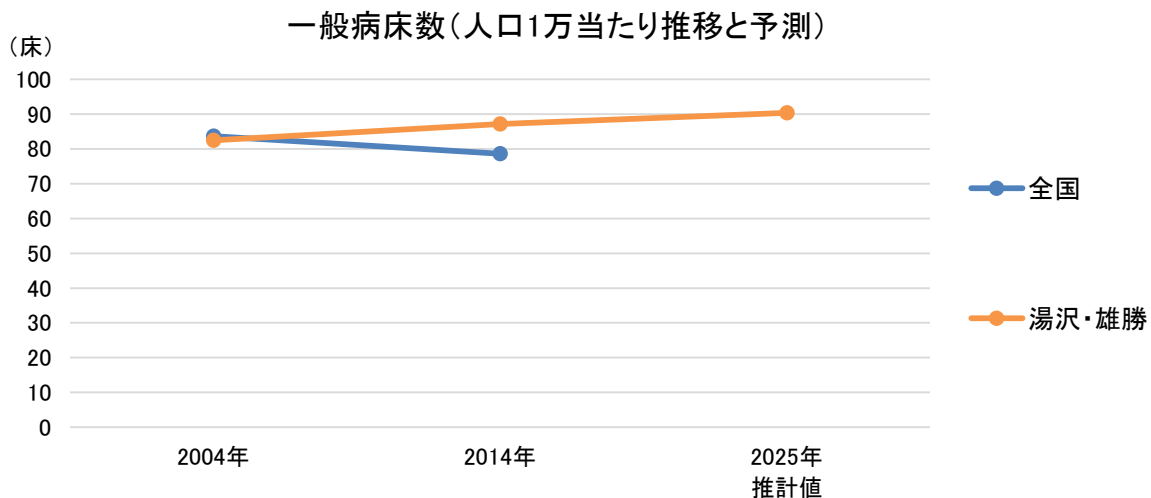
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が85人(人口10万人当たり111人(全国平均212人)偏差値38)であったが、2014年に85人(人口10万人当たり132人(全国平均246人)偏差値38)と、増減がなかった(全国平均15%の増加)。



5. 秋田県（2016年版）

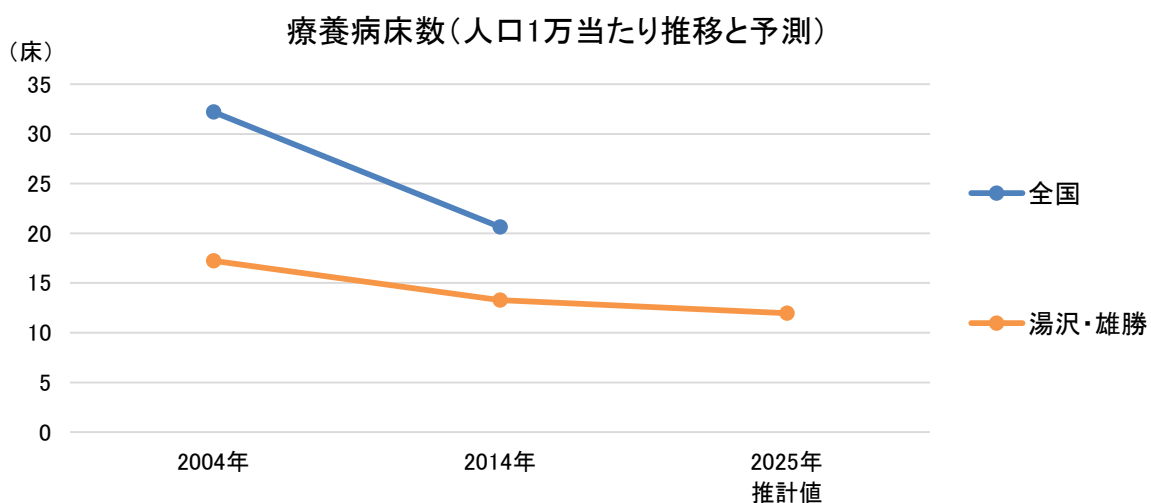
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が633床(人口1万人当たり82(全国平均84)偏差値50)であったが、2014年に563床(人口1万人当たり87(全国平均79)偏差値53)と、70床の減少、率にして11%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には486床(2025年の推計人口1万人当たり90)になることが予想される。



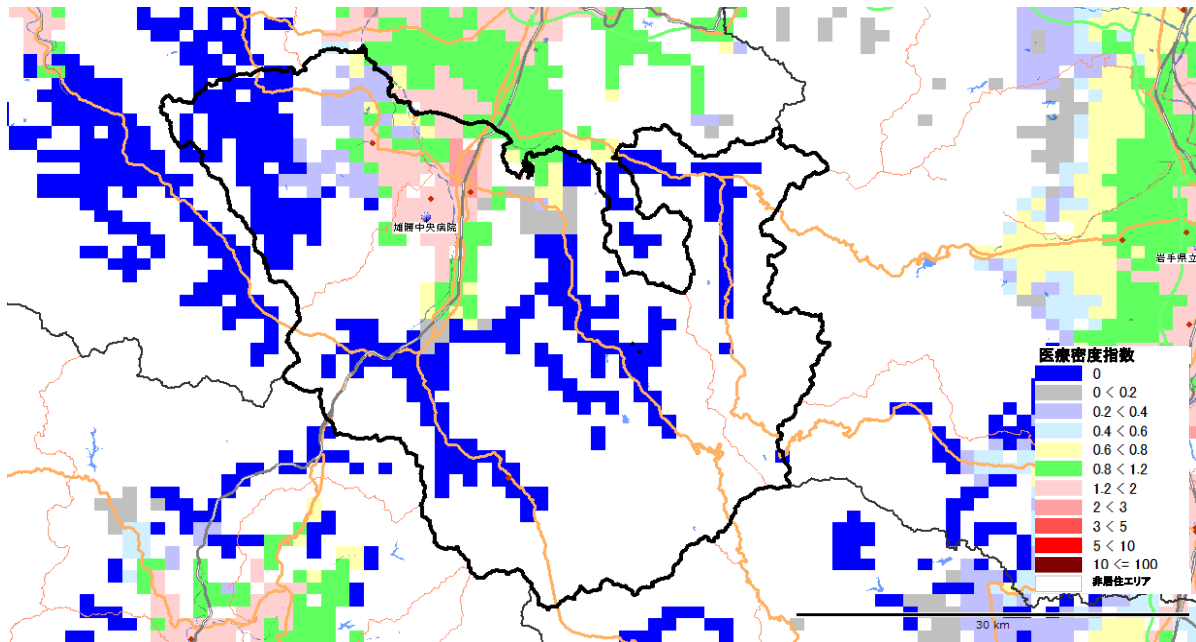
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が201床(75歳以上1000人当たり17(全国平均32)偏差値41)であったが、2014年に178床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値44)と、23床の減少、率にして11%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には153床(2025年の推計75歳以上1000人当たり12)になることが予想される。

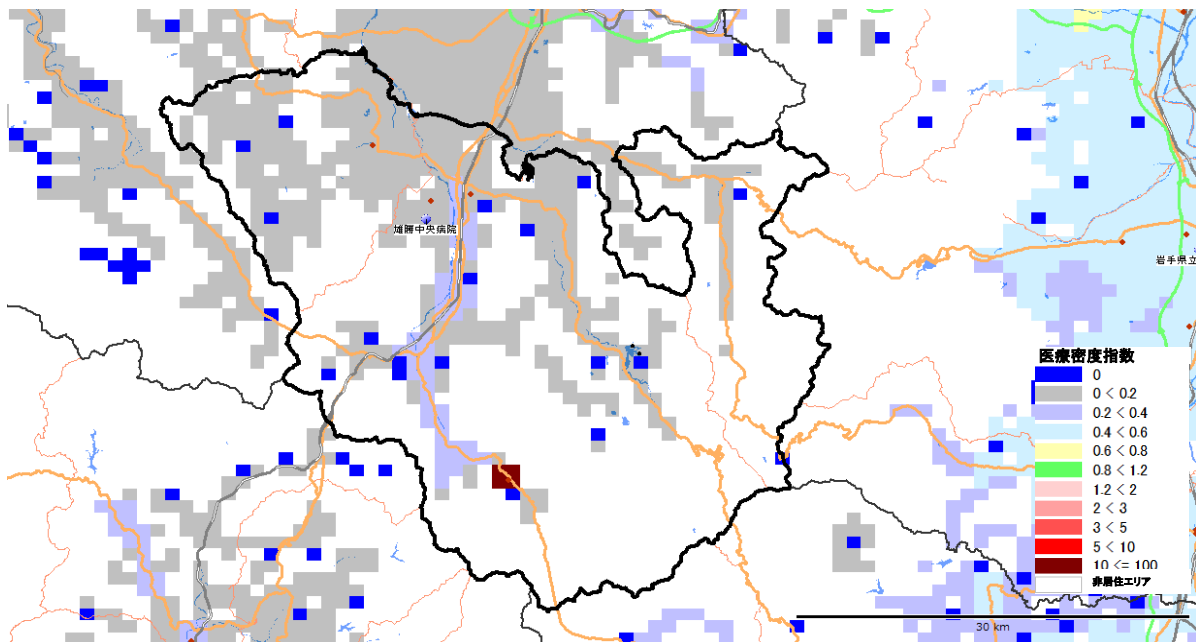


3. 医療密度⁵

図表5-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表5-8-2 慢性期医療密度指数マップ



5. 秋田県（2016年版）

注

¹1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを手に入れている地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。